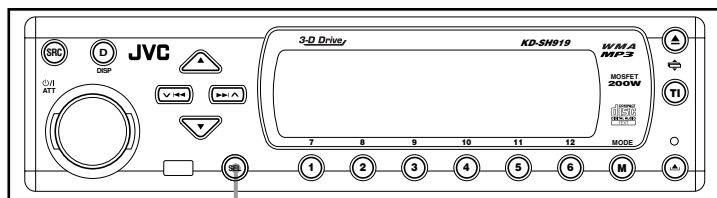
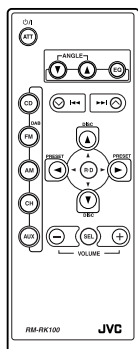


CDレシーバー

型名 KD-SH919



〈お知らせ〉

- お買い上げ時は、コントロールパネルが本体から外れています。**57**ページの「コントロールパネルの着脱」をご覧ください、本体に取り付けてください。

デモ表示について

本機にはGraphicsというデモ表示機能がついています。20秒以上ボタン操作をしないと、自動でデモ表示になります。

解除するときは、SELボタンを2秒以上押したあと数字ボタンの**1**を押し、回転ボリュームを左方向に回して「Off」に切換えます。詳しくは**48**ページの「PSMモードの機能説明(1)」をご覧ください。

－ お買い上げありがとうございます －

⚠ ご使用の前に

この「取扱説明書」と別冊の「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

もくじ

	ページ		ページ
● 安全上のご注意	3	● CDチェンジャー(別売り)の CDを聞く	31
● 使用上のご注意	6	・ 全曲演奏(全CDのくり返し演奏)	31
・ CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて ...	7	・ CD演奏中の表示内容を変える	31
● コントロールパネルの使いかた ..	8	・ 早送り/早戻しをする(サーチ)	32
・ 各部の名前	8	・ 頭出しをする(スキップ)	32
・ ボタンガイドダンス機能について	9	・ ダイレクト演奏	32
● リモコンの使いかた	10	・ フォルダの頭出しをする	33
・ 使用上の注意	10	・ プレイリストを見ながら選ぶ	33
・ 電池の入れかた	10	・ いろいろな再生モードを使用する ...	34
・ 各部の名前	11	● 他の機器の音を聞く	36
● 基本操作	12	● 画像データをダウンロードする ...	37
● 時計を合わせる	13	・ ダウンロードをする前に	37
● ラジオを聞く	14	・ 画像データをダウンロードする	39
・ 放送局を選ぶ	14	・ 画像を削除する	41
・ アンテナリモートについて	14	● 表示窓の画像を変える	42
・ 電波の弱い放送局を飛ばして選局する ...	15	● DSPモードを使う	44
・ FM放送が雑音で聞きにくいときは ...	15	・ DSPのモードを選ぶ	44
・ 放送局を自動で記憶(メモリー)させる ...	16	・ DSPの音場について	44
・ 放送局を選んで記憶(メモリー)させる ...	17	・ DSPのモードを詳細に調節する	45
・ 放送局を呼び出す(プリセット選局) ...	17	● SELボタンを使った各種設定 と調節	46
・ 放送局リストから選局する	18	・ PSMモードの設定方法	46
・ 道路交通情報を聞く	18	・ PSMモードの一覧	47
・ 放送受信中の表示内容を変える	19	・ PSMモードの機能説明(1)	48
・ IFフィルターを切り換える(FM放送のみ) ...	19	・ PSMモードの機能説明(2)	49
● 音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く ...	20	● iEQの使いかた	50
・ MP3/WMAについて	20	・ EQパターンを選ぶ	50
・ CD-R/CD-RWディスクについて ...	21	・ 調節したEQを記憶(メモリー)する ...	51
・ CDテキストについて	21	● 音量の調節	52
・ ディスク挿入後の表示について	21	・ スピーカーの音量を調節する	52
・ 早送り/早戻しをする(サーチ)	22	・ サブウーハーの音量を調節する	53
・ 頭出しをする(スキップ)	22	・ BBEを使う	53
・ ダイレクト演奏	22	・ ソース(音源)ごとの音量差を調節する ...	54
・ 曲を10ずつダイレクトに選ぶ	23	● 文字の入力のしかた	55
・ MP3/WMAのフォルダとファイルの演奏順序 ...	24	● コントロールパネルの角度を変える ...	56
・ ダイレクトフォルダアクセス機能 ...	24	● コントロールパネルの着脱	57
・ 次または前のフォルダにスキップする ...	25	・ コントロールパネルを外す	57
・ プレイリストを見ながら選ぶ	26	・ コントロールパネルを取り付ける ...	57
・ いろいろな再生モードを利用する	27		
・ ディスク演奏中の表示内容を変える ...	29		
・ ミュージックリンクについて	30		
・ ディスクの盗難防止	30		
・ ディスクのお手入れ	30		

	ページ		ページ
● 放送局名一覧	58	● 主な仕様	66
● 故障かな?と思う前に	62	● 文字配列表	67
・ こんな表示のときは	63	● お手入れ	裏表紙
● 保証とアフターサービス	65	・ 本体の清掃	裏表紙

安全上のご注意 —はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

● 絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



手をはさまれないよう注意

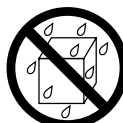
行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



一般的指示

安全上のご注意(つづき)ーはじめにお読みくださいー

警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。



- ・万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しない。



- ・コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電源容量オーバーにより火災の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。



分解禁止

- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

車内に飲みかけのパック飲料等を放置しない。



- ・カップホルダーの取付位置によっては、こぼれた飲料が本機の内部に入り発煙や発火・故障の原因となります。

音が出ないなどの故障や異常のままで使用しない。



- ・万一、故障や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど)が起こったら、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

自動車を運転中に音量調節などの操作をしない。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

⚠ 注意

本機の通風孔や放熱板をふさがない。



- ・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。



- ・車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

ディスク挿入口に異物を入れない。



- ・火災や感電・故障の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手や指を入れない。



- ・けがの原因となることがあります。

手をはさまれないよう注意

指定の電池以外は使用しない。



- ・電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、内部の表示通りに入れる。



- ・間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

本機を車載用以外には使用しない。



- ・感電やけがの原因となることがあります。

使用上のご注意

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり50W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4Ω～8Ωのものをお使いください。

●次のような場所は避けて取り付けてください。

- ・直射日光の当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける所など、温度が極端に高くなる場所
- ・雨が吹き込む所や水がかかったり、湿気の多い所
- ・ほこりの多い所

●安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また**操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。**
- ・ステレオの音量は、お客様の心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に、ディスクを使用するときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。
(使用温度範囲:0℃～+40℃)

●LCD表示(表示窓)について

極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これはLCDの特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してディスクが正常に演奏できないことがあります。

- ・エアコン(暖房)を入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

●海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

本機はBTL*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ず別冊の取付説明書の通りにしてください。

既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの^{マイナス}側が車の金属部に接続されていたり^{プラス}側同士が接続されていると故障の原因になります。

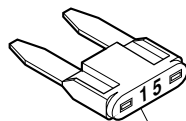
*BTL:Balanced Transformerlessの略

2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



ヒューズ(15A)

●携帯電話を使用する場合は…

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。ただし、運転中は交通安全のため携帯電話を使用しないでください。

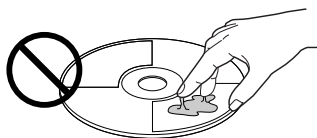
CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて

- **CD/CD-R/CD-RWを保管するときは**
専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。

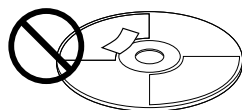
- **CD-R/CD-RWの取扱いについて**
CD-RやCD-RWは、通常の音楽CDより反射膜が弱いため傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取扱いには十分注意してください。

- **次のようなディスクは使用しないでください。**
本体内部にディスクが張り付いて取り出せなくなったり、大切なディスクが反ったり傷がついたりすることがあります。

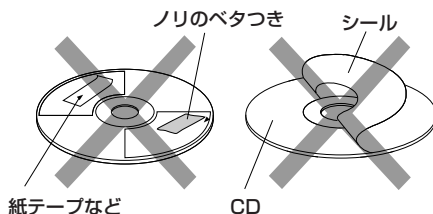
- ・ 中古CDやレンタルCDでシールなどのノリがはみだしたり、シールをはがしたあとにノリが付着しているもの。
またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの



- ・ レンタルCDでシールが張ってあるもの
(特にめくれているもの)



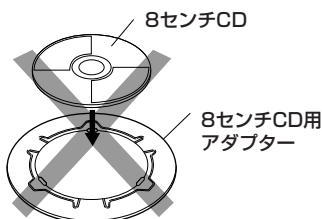
- ・ 記録面に保護シールなどを張ってあるもの
- ・ ラベル面にCD-Rラベルなどのラベルやシールを張ったもの



- ・ ラベル面に印刷できる
インクジェットプリンター対応CD-R
(印刷したもの)

※CD-Rラベルや印刷可能CD-Rの「使用上のご注意」などをよくお読みになり、正しくお使いください。

- ハートや花などの形をした特殊形状のCDは、絶対に使用しないでください。
円形以外のCDを使用すると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- 8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。
8センチCDは、そのまま挿入してください。

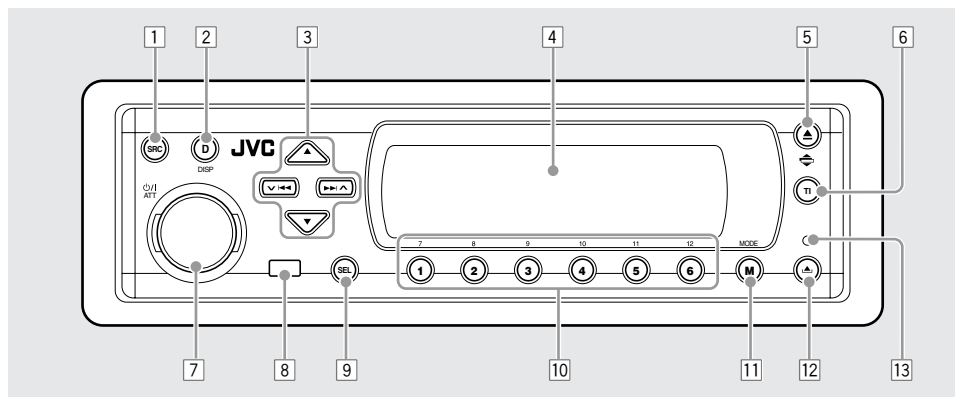


- 長時間ディスクを使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。

コントロールパネルの使いかた

各部の名前

— () 内のページに説明があります。 —



- 1 **SRC(ソース)ボタン (12, 14, 31, 36)**
 - ・ ソース(音源)を選ぶとき押します。
 - ・ ソース(音源)が「TUNER(ラジオ)」のとき1秒以上押すと、バンドが切り換わります。
- 2 **DISP(ディスプレイ)ボタン(19, 29, 40, 55)**

表示窓(ディスプレイ)の表示を変えるとき押します。
- 3 **▶▶(∧)/◀◀(∨)ボタン、▲/▼ボタン**

ソース(音源)や表示されるメニューによって働きが異なります。

ソース(音源)	▶▶(∧)/◀◀(∨)ボタン
「CD」	・ 押し続けると早送り/早戻し演奏になります。
「CD-CH (チェンジャー)」	・ 「ポン」と押すと曲の頭出しができます。
「TUNER (ラジオ)」	・ 「ポン」と押すとオート選局になります。 ・ 押し続けると、マニュアル選局になります。

ソース(音源)	▲/▼ボタン
「CD」	MODEボタンを押すと ・ 曲を10ずつ飛ばして選べます。
「CD-CH (チェンジャー)」	MP3/WMAディスクでは ・ 「ポン」と押すと再生するフォルダが切り換わります。 ・ 1秒以上押すと、プレイリストが表示されます。
「TUNER (ラジオ)」	・ 押すとプリセット選局ができます。 ・ 1秒以上押すと、放送局リストが表示されます。

- 4 **表示窓(ディスプレイ)**
- 5 **▲(CD取出し)ボタン (12, 20, 56)**

ディスクを取り出すときや挿入するとき「ポン」と押します。

◆(アングル切り換え)ボタン (56)
1秒以上押すと、コントロールパネルの角度切換表示が表示されます。
- 6 **TI(交通情報)ボタン (18)**

交通情報(AM 1620kHzまたは1629kHz)を聞くと押します。

- 7 **⏻/⏻ 電源ボタン (12)**
電源を「入/切」するとき押します。「切」にするときは1秒以上押します。

ATT(アッテネーター)ボタン (12)
一時的に音量を下げるときに「ボン」と押します。

回転ボリューム (13, 42, 53)
・ボリュームを調節するとき回します。
・メニュー表示中は、設定値の調節をすることができます。

- 8 **リモコン受光部**

- 9 **SEL(セレクト)ボタン**
・押すごとに、「DSP」、「IEQ」、フェーダーなど、音質を調節するメニューが表示されます。
・2秒以上押すと、PSMメニューが表示されます。

- 10 **数字ボタン**
・ディスクの曲番号やラジオのプリセット番号を選ぶとき押します。
・メニュー表示中は、ファンクションボタンとして働きます。

- 11 **MODE(モード)ボタン**
再生モードを切り換えたり、画像機能を使うとき押します。

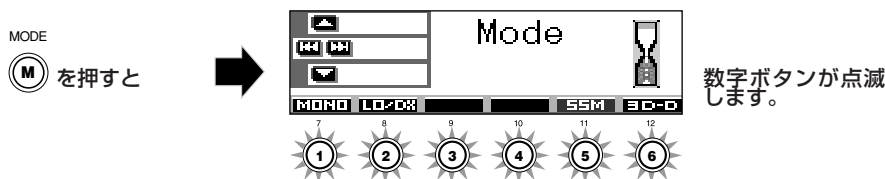
- 12 **▲(コントロールパネル取り外し)ボタン (12, 57)**
コントロールパネルを取り外すとき押します。

- 13 **リセットボタン**
本機をお買い上げ時の設定に戻すとき押します。

ボタンガイダンス機能について

MODEボタンやSELボタンを押すと、▶▶(∧)/◀◀(∨)ボタン、▲/▼ボタン、数字ボタン、回転ボリュームなどが、モード選択や調節のために働くようになります。その際、ボタンや回転ボリュームのランプが点滅し、次に必要な操作をお知らせします。

(例)FM放送受信中にMODEボタンを押したとき



数字ボタンの上の表示窓には、そのボタンに割り当てられた機能名が表示されます。点滅中にボタンを押すと、その機能の表示に切り換わります。

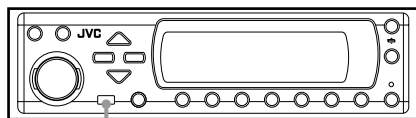


通常のボタン操作をしたいときは、ボタンの点滅が終わるのを待ちます。または、もう一度MODEボタンを押します。

リモコンの使いかた

使用上の注意

- コントロールパネルのリモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください。(動作しないことがあります)
- 付属の電池は動作確認用です。
早めに新しい電池(CR 2025:市販品)と交換してください。



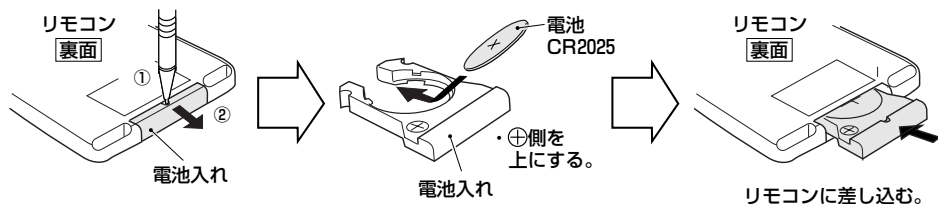
リモコン受光部

ご注意

- 長時間直射日光が当たる場所(ダッシュボードの上など)に、リモコンを置かないでください。変形や故障の原因となります。

電池の入れかた

ボールペンなどを電池入れの溝に入れて引き出す。

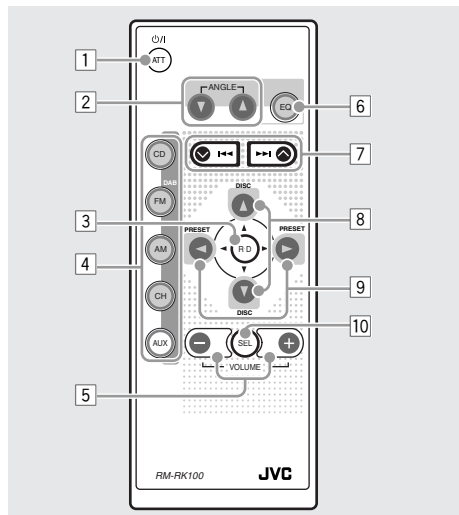


● 電池の交換時期(目安)は…

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

使用済みの電池は、廃棄しないでリサイクル協力店にお持ちください。

各部の名前



1 〇/I 電源ボタン

電源を「入/切」するとき押します。「切」にするときは1秒以上押します。

ATT(アッテネーター)ボタン

一時的に音量を下げるときに「ボン」と押します。

2 ANGLE(アングル)▲/▼ボタン

コントロールパネルの角度を変えると押しします。角度をダイレクトに変えることができます。

3 R・D(ルートディレクトリ)ボタン

MP3/WMAディスクの再生中「ルート」に戻すとき押します。

4 ソース(音源)ボタン

CD: CD/MP3/WMAディスクを聞くと使います。ディスクが入っていないときは、働きません。

FM: FM放送を聞くと使います。くり返し押しすると、「FM1」と「FM2」が交互に切り換わります。
(DABの機能はありません)

AM: AM放送を聞くと使います。くり返し押しすると、「AM1」と「AM2」が交互に切り換わります。

CH: CDチェンジャー内のCDを聞くと使います。CDチェンジャーを接続していないときは、働きません。

AUX: 本機に接続した外部機器の音声を聞くとき使います。「Line In」設定を「Off」にすると、働きません。

5 VOLUME(ボリューム)+/-ボタン

音量の調節ができます。

6 EQ(イコライザー)ボタン

イコライザーを使うとき押しします。EQパターンがダイレクトに選べます。

7 ►►(へ)/◄◄(∨)ボタン

ソース(音源)によって働きが異なります。

「CD」「CD-CH」のとき:

曲の頭出しや、早送り/早戻し演奏ができます。

「FM」「AM」のとき:

オート選局ができます。

8 DISC(ディスク)▲/▼ボタン

ソース(音源)や表示されるメニューによって働きが異なります。

「CD-CH」のとき:

CD1からCD12までのCDが選べます。

MP3/WMAディスクのとき:

再生しているフォルダの上下の階層にあるフォルダが選べます。

フェーダー/バランス調節画面のとき:

フロント/リアのスピーカー音量(フェーダー)が調節できます。

9 PRESET(プリセット)►/◄ボタン

ソース(音源)や表示されるメニューによって働きが異なります。

「FM」「AM」のとき:

記憶されている放送局が選べます(プリセット選局)。

MP3/WMAディスクのとき:

再生順に前後のフォルダが選べます。

フェーダー/バランス調節画面のとき:

左右のスピーカー音量(バランス)が調節できます。

10 SEL(セレクト)ボタン

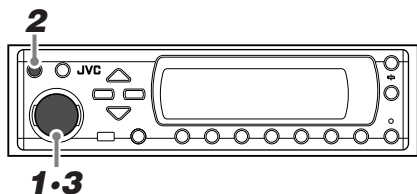
フェーダー/バランス調節画面を表示させることができます。

・他の調節画面やPSMメニューを表示させることはできません。

基本操作

準備

- 車のエンジンをかける。本機はエンジンキーが「OFF」または「ACC OFF」の状態では電源を入れることができません。



1 を押して電源を入れる

表示窓が点灯し、電源を切る前のソース(音源)・・・お買い上げ時は「FM1」・・・が表示されます。

2 を「ポン・ポン」と押してソース(音源)を選ぶ

ボタンを押すごとに、ソース(音源)が切替わります。



- 「TUNER(ラジオ)」のとき  を1秒以上押したあとさらに押すと、バンドが選べます。

- *1 本機にCDまたはMP3/WMAディスクが入っているとき表示されます。
- *2 本機にCDチェンジャーが接続されているとき表示されます。
- *3 「Line In」設定を「Off」に設定しているときは表示されません(⇒ 49ページ)。

3 を回して音量を調節する

- 調節範囲
Volume 0～Volume 50
(初期設定 Volume 15)

- 音量を一時的に下げる



を「ポン」と押します。

「ATT」が点滅表示され音量が下がります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

- 本機でコントロールできるチェンジャーについて

- CH-MPシリーズのMP3チェンジャー
- CH-XシリーズのCDチェンジャー(CH-X99を除く)

KD-MKシリーズのCDチェンジャーは、コントロールできません。

- 電源を「切」にする



を1秒以上押します。

パワーオフアニメが表示され電源が「切」になります。

- 車のエンジンキーが「OFF」でも次のボタンは、操作ができます。



-  (CD取出し) ボタン
CDの出し入れ



-  (コントロールパネル取り外し) ボタン



- DISP ボタン
5秒間の時刻表示

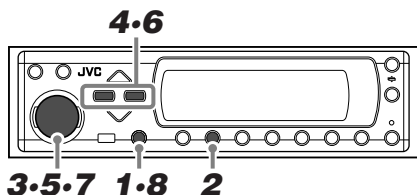
ただし、電源を「入」にすることはできません。

〈お知らせ〉

- スピーカーの音量調節は52ページをご覧ください。

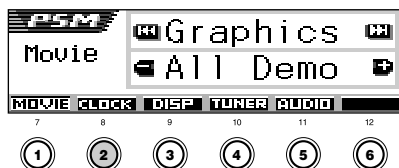
時計を合わせる

- 各操作には時間制限があります。設定表示が表示されている間に操作を行ってください。



1 SEL を2秒以上押す

PSMメニューが表示されます。



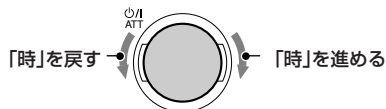
2 ② を押して「Clock」を選ぶ

クロック アワー

「Clock Hr」が表示されます。



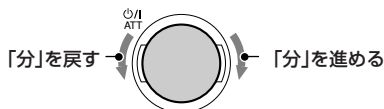
3 ③ を回して「時」を合わせる



4 ④ を押して「Clock Min」を表示させる

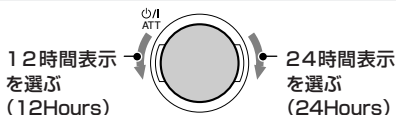
- 「Clock Hr」に戻すときは、⑤ を押します。

5 ⑤ を回して「分」を合わせる



6 ⑥ を押して「24H/12H」を表示させる

7 ⑦ を回して時間方式を選ぶ



8 ⑧ を押す

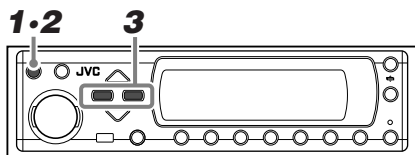
元のソース(音源)の表示に戻ります。
SELボタンを押さないときは、15秒後に元のソース(音源)の表示に戻ります。

＜お知らせ＞

- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- 時刻を合わせ直すときも手順1～8の操作をします。
- SELボタンを使ってその他の設定を変更したいときは、46～49ページをご覧ください。

ラジオを聞く

放送局を選ぶ



1 を押してソース(音源)を「TUNER(ラジオ)」にする

ボタンを押すごとに、ソース(音源)が切替わります。



*1 本機にCDまたはMP3/WMAディスクが入っているとき表示されます。

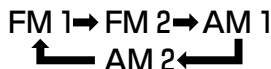
*2 本機にCDチェンジャーが接続されているとき表示されます。

*3 [Line In]設定を「Off」にしているときは表示されません(⇒ 49ページ)。

2 を1秒以上押してバンドを選ぶ

バンド表示が点滅します。

点滅中、SRCボタンを押すごとにバンドが切替わります。



リモコンで操作する

 または  を押します。

 : 押すごとにFM1 ↔ FM2が交互に切替わります。

 : 押すごとにAM1 ↔ AM2が交互に切替わります。

3 / を押して選局する

 : 周波数が上がります。

 : 周波数下がります。

● オート選局(シーク):

「ポン」と押して離す。

オートサーチ
「Auto Search」と表示され本機が自動で放送局を探し、受信すると停止します。

● マニュアル選局:

マニュアルサーチ
1秒以上押して「Manual Search」を表示させた後、「ポン・ポン」と押して選局する。

・FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わり、押し続けると連続して変わります。

リモコンで操作する

 /  を押します。

ボタンを押すと、オート選局が始まります。
(リモコンではマニュアル選局はできません)

＜お知らせ＞

- 受信状態が悪いと、オート選局が自動停止しないことがあります。そのときは、もう一度  () /  () ボタンを押してください。
- マニュアル選局のモードは、選局の操作から5秒後に自動で解除されます。
- AM放送はモノラル受信です。

アンテナリモートについて

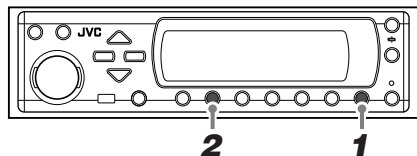
- 電動アンテナ装備車およびアンテナブースター装備車の場合は、アンテナコントロール電源コードを車両側の対応する端子(アンテナコントロール)に接続してください。ソース(音源)を「TUNER(ラジオ)」にすると自動的にアンテナ(ブースター)側に電源が供給されます。「CD-CH」や「CD」などにソース(音源)を切り換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。

(アンテナコントロール電源)コードの最大コントロール電流は250mAです

電波の弱い放送局を飛ばして選局する

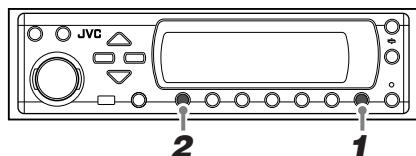
電波が弱く、雑音などが多くて聞きづらいFM放送局を受信しないようすることができます。

- ・オート選局(⇒ 14ページ)と組み合わせて使うと便利です。

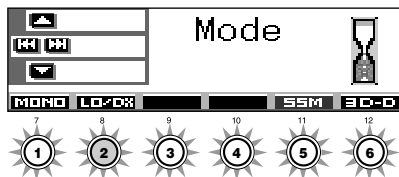


FM放送が雑音で聞きにくいときは

FMステレオ放送受信時に、電波状態が悪くて雑音が多いときは、FM放送のモードを切替えます。

1 FM放送受信中に **MODE** を押す

「Mode」と表示され、数字ボタンが点滅します。



5秒以内に

2 **LO/DX** を押して「LO/DX」を選ぶ

ボタンを押すごとに「Local」と「DX」が交互に切り替わります。



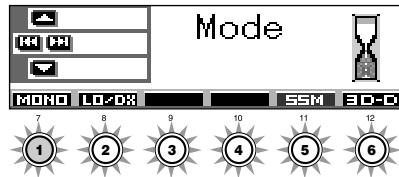
ローカル Local : 電波の弱いFM放送局を飛ばして受信します。通常の表示に戻ると表示窓に「LO」が表示されます。

DX : 電波の弱いFM放送局も受信します。通常の表示に戻ると表示窓に「DX」が表示されます。

もう一度MODEボタンを押すかまたは、5秒間何も操作しないと、通常の表示に戻ります。

1 FM放送受信中に **MODE** を押す

「Mode」と表示され、数字ボタンが点滅します。



5秒以内に

2 **MONO** を押して「MONO」を選ぶ

ボタンを押すごとに「Mono On」と「Mono Off」が交互に切り替わります。



モノ オン Mono On : FM放送はモノラル受信となり雑音が少なくなります。通常の表示に戻ると表示窓に「MO」が表示されます。

モノ オフ Mono Off : FM放送はステレオ受信になります。通常の表示に戻ると表示窓に「ST」が表示されます。

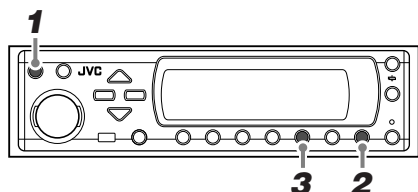
もう一度MODEボタンを押すかまたは、5秒間何も操作しないと、通常の表示に戻ります。

ラジオを聞く(つづき)

放送局を自動で記憶(メモリー)させる

電波の強い放送局を自動選局し記憶させることができます(SSM…ストロングステーションメモリー機能)。

- SSM機能を使うと、すでにそのバンドに記憶してあった放送局は取り消されます。



1 放送受信中に (SRC) を1秒以上押してバンドを選ぶ

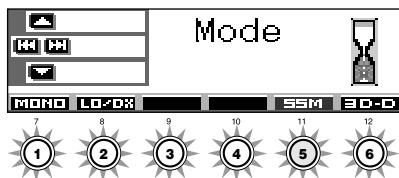
バンドごとにそれぞれ6つまで放送局を記憶させることができます。

例:FM1のとき



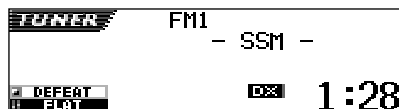
2 MODE (M) を押す

「Mode」と表示され、数字ボタンが点滅します。



手順3に進んでください。

3 (5) を1秒以上押して「-SSM-」と表示させる



自動選局が始まり、周波数の低い順に最大6つまでのFM放送局を数字ボタンの1~6に記憶していきます。



すべての記憶が終わると、数字ボタン1に記憶された放送局が表示されます。

＜お知らせ＞

- 放送局が6局より少ないときは、記憶されなかった番号には以前の記憶内容が残ります。
- 受信状態が悪いと、うまく記憶されないことがあります。よく受信できる所に移動してから操作してください。
- 「LO/DX」設定(⇒ 15ページ)は、SSM機能には影響しません。
- 放送を聞ときは、プリセット選局が利用できます(⇒ 17ページ)。

ご注意

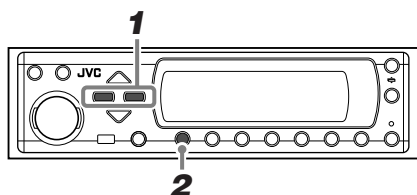
- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、メモリー(記憶)した放送局は取り消されます。また時計表示は「1:00」に戻ります。電源を接続したらもう一度設定し直してください。

放送局を選んで記憶(メモリー)させる

SSM機能を使って自動で記憶するほかに、放送局を選んでから1局ずつ手動で記憶させることができます。

- 数字ボタンの記憶順を変えたり、新しい放送局を追加するときなどに便利です。
- この操作は、SSM機能で放送局を記憶させた後にしてください。あとからSSM機能を利用すると、記憶させた内容が取り消されることがあります。

例: FM放送の81.3 MHzを数字ボタン1に記憶する



1

▶/◀ を押して
FM81.3 MHzを選局する

「放送局を選ぶ」(→ 14ページ)をご覧ください。

2

① を2秒以上押す

「Preset 1」が点滅表示され、放送局が記憶されます。

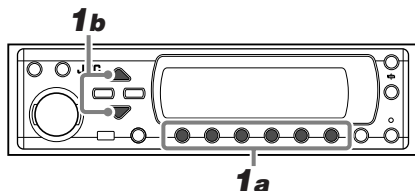


〈お知らせ〉

- 数字ボタンは必ず2秒以上押し続けてください。短いと記憶されません。

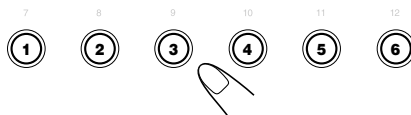
放送局を呼び出す(プリセット選局)

数字ボタン1~6に記憶されている放送局をワンタッチで選局することができます。



1a

数字ボタンの1~6のいずれかを押して選局する



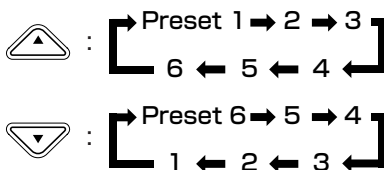
〈お知らせ〉

- 数字ボタンを2秒以上押さないでください。

1b

▲/▼ を押して選局する

ボタンを押すごとに記憶されている放送局が選べます。



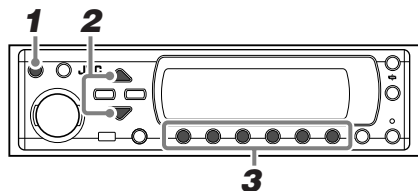
リモコンで操作する

PRESET または PRESET を押します。

ラジオを聞く(つづき)

放送局リストから選局する

プリセットした放送局を一覧表示してから選局することもできます。



1 **[SRC]** を1秒以上押してバンドを選ぶ

2 **[▲]/[▼]** を1秒以上押す

選んだバンド(例は「FM1」)の放送局リストが表示されます。

FM+	①	81.3	④	84.7	
FM-	②	78.0	⑤	86.3	
FM1	P1	③	80.0	⑥	76.0

現在のバンド 選んだ放送局
(数字ボタン1)

[▲]/[▼] を押すごとにバンドが切り換わります(FM放送の場合は、「FM1」↔「FM2」)。

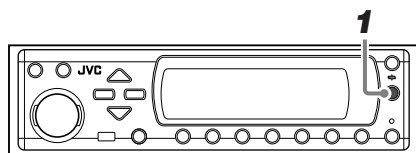
AM放送とFM放送は切り換わりません。

3 数字ボタンの1~6を押して選局する

5秒間何も操作しないと、通常の表示に戻ります。

道路交通情報を聞く

高速道路などの特定地域では、AM1620kHzで道路交通情報を聞くことができます。



1 **[TI]** を押す

聞きたいところでボタンを押すと、ソース(音源)に関係なくAM1620kHzが受信できます。

AM1629kHzで道路交通情報を放送しているときは：

[▶◀]/[◀▶] を押します。もう一度押すと「AM1620kHz」に戻ります。

元のソース(音源)に戻るときは：

もう一度 **[TI]** を押します。

〈お知らせ〉

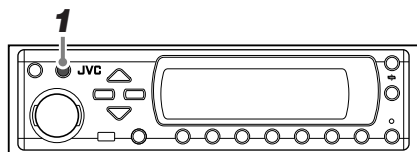
- AM1620kHzまたは1629kHzに放送局名が入力されているとき(➡ 55ページ)は、**[TI]** ボタンを押して道路交通情報を聞いている状態では、入力した放送局名は表示されません。
- **[TI]** ボタンを押して道路交通情報を聞いているときは、他のソース(音源)とは独立して音量調節ができます。もう一度**[TI]** ボタンを押して元のソース(音源)に戻すと、音量も元に戻ります。

〈お知らせ〉

- 放送局リストでは、「SELボタンを使った各種設定と調節」の操作で「St. Area」の「ご利用の地域」を設定したときは、周波数表示の代わりに放送局名が表示されます(➡ 49ページ)。

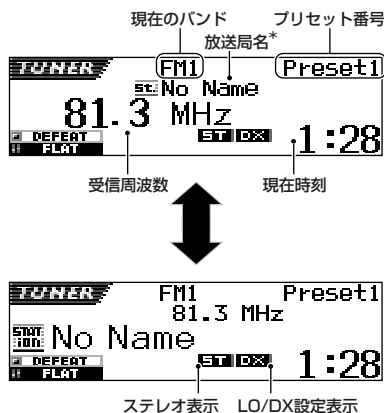
放送受信中の表示内容を変える

放送受信中に、表示を変えることができます。



1 を押す

ボタンを押すごとに、次のように表示が切り換わります。

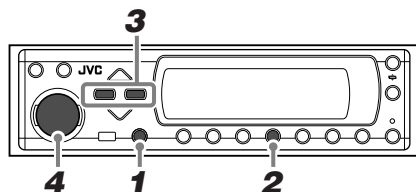


〈お知らせ〉

- 49ページの「SELボタンを使った各種設定と調節」の操作で「St. Area」の「ご利用の地域」を設定したときは、受信した放送局の局名が表示されます。
- 「ご利用の地域」を設定すると、バンドを変えてその周波数を選局すると同じ放送局名が表示されます。
- 放送局名はスクロール表示されません。
- * 「ご利用の地域」を設定していないときは、「No Name」と表示されます。

IFフィルターを切り換える(FM放送のみ)

本機のチューナーは、電波の強さや隣接妨害波などの影響を軽減するために自動でIFフィルターを切り換えています。



1 を2秒以上押す

PSMメニュー(→ 47ページ)が表示されます。

15秒以内に

2 を押す

15秒以内に

3 を押して「IF Filter」を表示させる

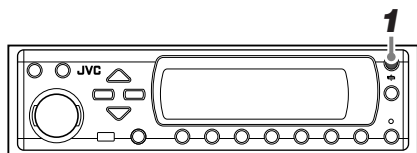
15秒以内に

4 を回して設定を変更する

オート : 隣接妨害波の有無によって、自動でIFフィルターの帯域幅を切り換えます。

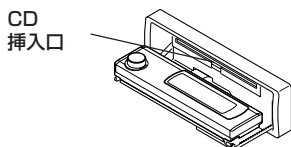
ワイド : 通常の広い帯域幅のIFフィルターに固定します。

音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く

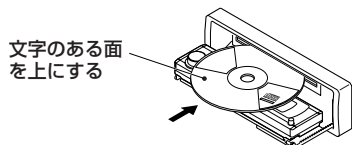


1 (CD取出し)を押す

コントロールパネルが開いてCDの挿入口が現われます。



2 CDを入れる



途中まで入れると「ピッ」音の後、CDが自動で中に引き込まれます。

コントロールパネルが元の位置に戻り、ソース(音源)が「CD」になり演奏が始まります。

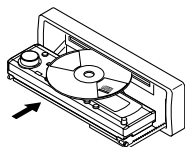
演奏を止めるまで、すべての曲がくり返し演奏されます。

演奏を止める:

(CD取出し)を押してCDを取り出すか、SRCボタンを押してソース(音源)を切り換えます。

● 8センチCDの入れかた

8センチCDは、挿入口の中央から軽く押し入れて入れます。



〈お知らせ〉

- 文字のある面に次のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。



- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを演奏するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。
- 「—CD Play」表示中は、ディスクを読み込んでいます。読み込みが終わると、演奏が始まります。なおCD-RWディスクのときは、多少時間がかかります。
- (CD取出し)ボタンを押すとCDが出てきます。このときCDを取らずにそのままにしておくと15秒後に再び中に引き込まれます。このとき、CDの演奏は始まりません。

MP3/WMAディスクについて

- 多くの階層を持つディスクやCD-RWに記録したディスク、マルチセッションディスクでは演奏が始まるまで時間がかかります。
- 階層化したフォルダのあるディスクは、8階層まで演奏できます。
- ルートとは、現在開いているMP3/WMA*ディスクの最上階層のフォルダのことです。
- 同一階層内のフォルダやファイルは、ライティングソフトによってMP3/WMAディスクに書き込まれた順序で演奏されます。一般的には名前数字・アルファベット順に書き込まれるためフォルダ名、ファイル名の初めに数字(01A、01B…など)をつけると、演奏順序を指定できることがあります。

* WMA (Windows Media® Audioの略)は、米国Microsoft社の開発した音声圧縮フォーマットです。

〈お知らせ〉

- 詳しくは、別冊の「音楽用ファイルMP3/WMAについて」もご覧ください。

CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理がされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用CDフォーマットで記録されたディスクおよびISO9660フォーマットで記録されているディスク上のMP3/WMAファイルを再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- CD-RWディスクは、反射率が他のCDより低いためCDの演奏がスタートするまで時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクは、高温多湿な環境に弱いため車内に放置すると、記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- CDテキストを入力したCD-R/CD-RWディスクは、テキスト内容により演奏するまでに時間がかかることがあります。
- CD-R/CD-RWディスクにCDテキストを入力した場合、お客様の使用環境(PCやCD-R/CD-RWドライブ、ライティングソフト)によっては本機に正しく表示されないことがあります。

〈お知らせ〉

- 全角文字は全角で、半角文字は半角で表示されます。

(シフトJIS第三水準以上の文字は表示されません)

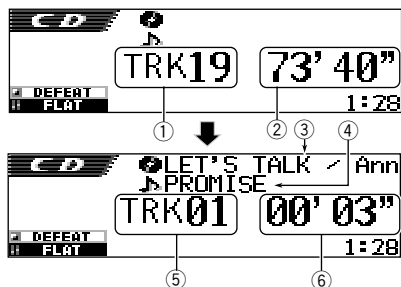
CDテキストについて



本機でCDテキスト対応のCDを演奏するとアルファベットや数字および漢字で「CDテキスト」データを表示します。

ディスク挿入後の表示について

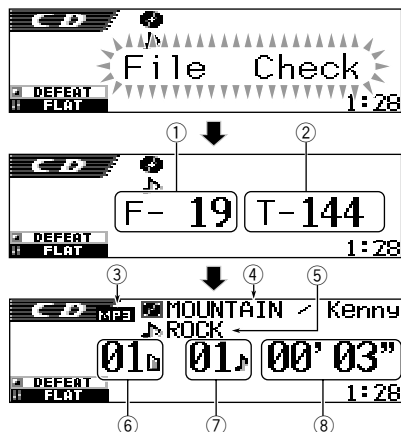
● 音楽用CDのとき



- ① 総曲数
- ② 総演奏時間
- ③ CD名*/演奏者名*
- ④ 曲名*
- ⑤ 演奏中の曲番号
- ⑥ 演奏中の曲の演奏経過時間

* タイトルがないときまたは入力していないときは「No Name」と表示されます。

● MP3/WMAディスクのとき



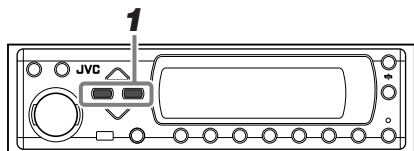
- ① 総フォルダ数
- ② 総曲(ファイル)数
- ③ ファイルの種類
- ④ アルバム名/演奏者名(またはフォルダ名**)
- ⑤ 曲名(またはファイル名**)
- ⑥ 演奏中のフォルダ番号
- ⑦ 演奏中のファイル番号
- ⑧ 演奏中のファイルの演奏経過時間

** 「Tag」設定が「Off」のとき、またはTag情報が記録されていないとき。

音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く(つづき)

早送り/早戻しをする(サーチ)

演奏する速度を変えて、聞きたいフレーズに素早く移動できます。



1 [快進] / [快戻] を押し続ける

早送り/早戻し演奏になります。
ボタンを離すと、通常の演奏に戻ります。

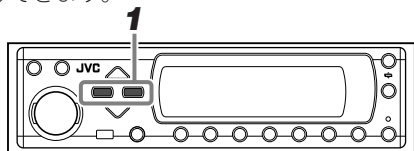
リモコンで操作する

[快進] / [快戻] を押し続けます。

早送り/早戻し演奏になります。
ボタンを離すと、通常の演奏に戻ります。

頭出しをする(スキップ)

前後の曲(ファイル)の頭にスキップすることができます。



1 [先送り] / [先戻] を押す

ボタンを押すごとに前後の曲(ファイル)の頭に移動します。

ボタンを離すと、通常の演奏に戻ります。

リモコンで操作する

[先送り] / [先戻] を押します。

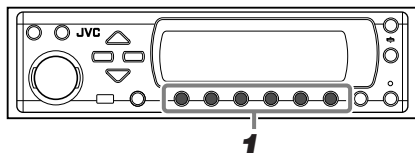
ボタンを押すごとに前後の曲(ファイル)の頭に移動します。

ボタンを離すと、通常の演奏に戻ります。

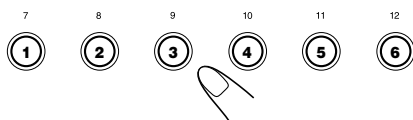
ダイレクト演奏

音楽用CDの場合のみ

聞きたい曲がダイレクトに選べます。



1 数字ボタンを押す



- 1~6曲目を選ぶときは、数字ボタンの1~6のいずれかを「ポン」と押します。

例: 3曲目を選ぶ

[3] を「ポン」押します。

- 7~12曲目を選ぶときは、数字ボタンを1秒以上押します。

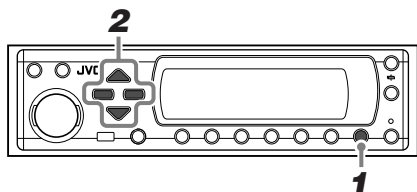
例: 12曲目を選ぶ

[12] を1秒以上押します。

- 13曲目以上を選ぶときは、「曲を10ずつダイレクトに選ぶ」(⇒ 23ページ)をご覧ください。

曲を10ずつダイレクトに選ぶ

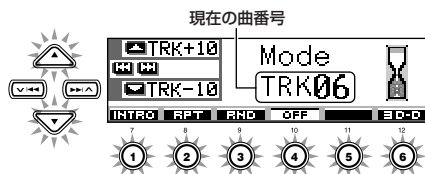
10曲単位で曲(ファイル)を飛ばして、聞きたい曲(ファイル)が素早くダイレクトに選べます。



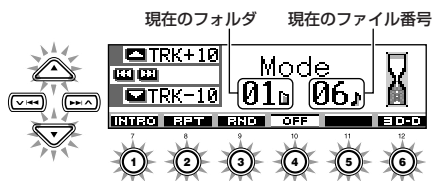
1 MODE (M) を押す

「Mode」と表示され、数字ボタンと▲/▼ボタンが点滅します。

例: 音楽用CDのとき



例: MP3/WMAディスクのとき



5秒以内に

手順2に進みます。

2 ▲/▼ を押して曲(ファイル)を選ぶ

もっとも近い10の倍数(10、20、30...)の曲(ファイル)番号に変わります。その後はボタンを押すごとに、10ずつ曲(ファイル)番号が変わります。

例: 曲番号6の演奏中に曲番号32を選ぶときは



曲番号6 → 10、20、30 → 31、32

例: 曲番号36の演奏中に曲番号8を選ぶときは



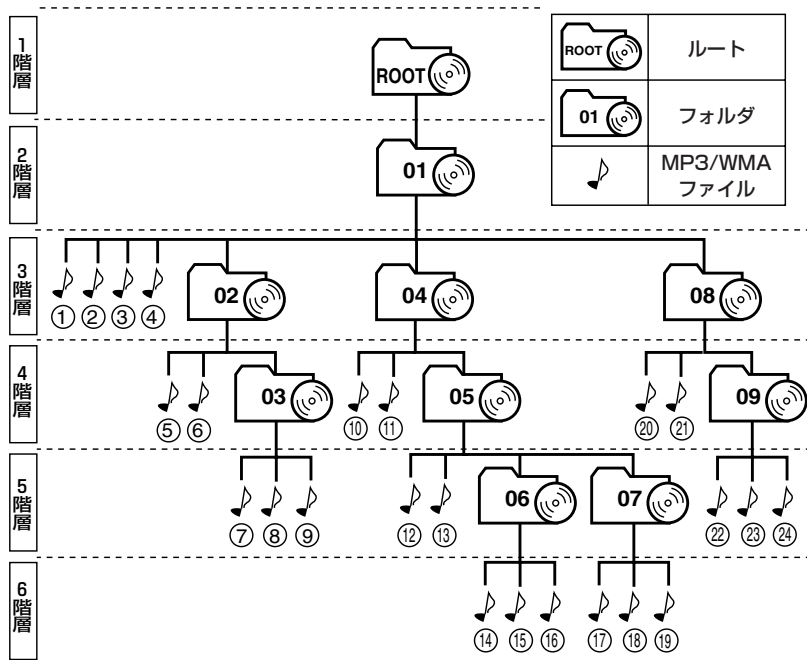
曲番号36 → 30、20、10 → 9、8

〈お知らせ〉

- 曲数が10曲に足りないときは、最後の曲が選ばれます。
- 音楽用CDの場合、最後の曲まで移動した後に次の曲を選ぶと、最初の曲に戻ります。また、最初の曲まで移動した後に次の曲を選ぶと、最後の曲に戻ります。
- MP3/WMAディスクの場合、前後10曲ずつダイレクトに選べるのは同じフォルダ内のファイルに限ります。

音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く(つづき)

MP3/WMAのフォルダとファイルの演奏順序

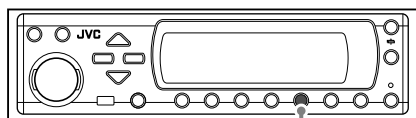


ダイレクトフォルダアクセス機能

MP3/WMA ディスクの場合のみ

聞きたいファイルのフォルダがダイレクトに選べます。

この機能を使うためには、あらかじめフォルダの名前の最初の2文字に「01」から「12」までの数字をつけておきます。



1a・1b

- フォルダ名「05ABC」を選ぶとき

1a ¹¹(5) を押す

フォルダ「05ABC」の最初のファイルの演奏が始まります。

- フォルダ名「11WXYZ」を選ぶとき

1b ¹¹(5) を1秒以上押す

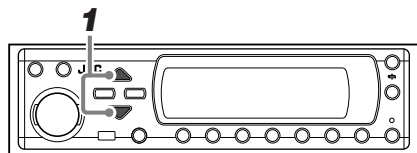
フォルダ「11WXYZ」の最初のファイルの演奏が始まります。

＜お知らせ＞

- 選んだフォルダにMP3/WMAファイルが含まれないときは「No Music」と表示され、演奏が始まりません。

次または前のフォルダにスキップする

ディスク内のフォルダの演奏順序や階層構造に従って、フォルダを選ぶことができます。左ページの図を例にして説明します。



● 演奏順序で選ぶ

左ページの図のフォルダの演奏順序(「01」、「02」、「03」…)に従ってフォルダを選ぶことができます。

1 を押す

ボタンを押すごとにフォルダが切り換わり、選んだフォルダの最初のファイルの演奏が始まります。

リモコンで操作する

PRESET PRESET



を1秒以上押します。

1秒以上押すごとにフォルダが切り換わり、選んだフォルダの最初のファイルの演奏が始まります。

〈お知らせ〉

- MP3/WMAディスクの場合、最後のフォルダ(左ページの例では「09」)まで移動した後、次のフォルダを選ぶと、最初のフォルダ(左ページの例では「01」)に戻ります。また、最初のフォルダまで移動した後、前のフォルダを選ぶと、最後のフォルダに移動します。

● 階層構造に従って選ぶ

左ページの図のフォルダの階層構造(「1階層」、「2階層」、「3階層」…)に従ってフォルダを選ぶことができます。

リモコンのみ

例：「05フォルダ」演奏中に「09フォルダ」を選ぶ

1 を押す

階層を1つ上って「04フォルダ」に移動し、最初のファイルの演奏が始まります。

2 を押す

同じ階層の「08フォルダ」に移動し、最初のファイルの演奏が始まります。

3 を押す

階層を1つ下って「09フォルダ」に移動し、最初のファイルの演奏が始まります。

各ボタンの働き

DISC



：階層を1つ上ります。



DISC

：選択中のフォルダ内で階層を1つ下ります。下の階層にフォルダがないときは、無効です。

PRESET PRESET



：同じフォルダ内の他のフォルダを選びます。



：ROOTに移動します。

〈お知らせ〉

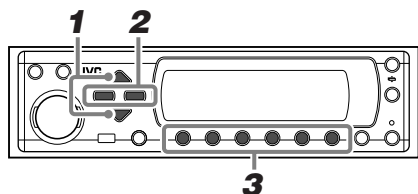
- 選んだフォルダにMP3/WMAファイルが含まれないときは「No Music」と表示され、演奏が始まりません。

音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く(つづき)

プレイリストを見ながら選ぶ

演奏中のMP3/WMAディスクのフォルダ名やファイル名をリストを見ながら選ぶことができます。

MP3/WMA ディスクの場合のみ



1 ▲/▼ を1秒以上押してリストを表示させる

フォルダ名のリストが表示されます。



現在のリストの種類

選択中のフォルダ名
(数字ボタン1)

フォルダは最大6つまで表示されます。
7つ目以降のフォルダは、

▲/▼ を押して表示させます。

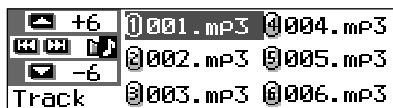
フォルダを選ぶときは、手順3へ進みます。

ファイルを選ぶときは、手順2へ進み、
ファイル名リストを表示させます。

2 ▶◀/◀▶ を押してリストを切り換える

ボタンを押すごとに表示されるリストが、切り換わります。

Track ←→ Folder
(ファイル名リスト) (フォルダ名リスト)

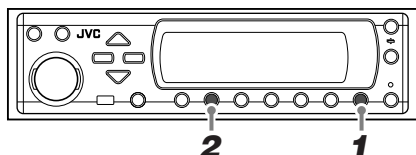


3 数字ボタンを押して選択する

選んだフォルダまたはファイルの演奏が始まります。

いろいろな再生モードを使用する

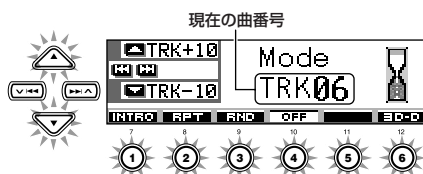
● リピート演奏



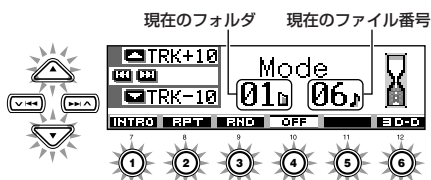
1 MODE (M) を押す

「Mode」と表示され、数字ボタンと▲/▼ボタンが点滅します。

例：音楽用CDのとき



例：MP3/WMAディスクのとき

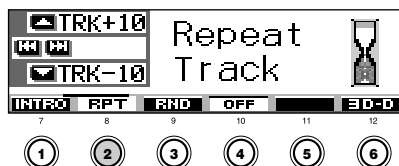


5秒以内に

手順2に進みます。

2 (2) を押す

「Repeat」が表示されます。



(2) を押すごとに、リピート演奏のモードが切り換わります。

● 音楽用CDのとき

Repeat Track : 現在の(または指定した)曲をくり返し演奏
表示窓に「♪RPT」が表示されます

↑ ↓

Repeat Off : リピート演奏を解除

● MP3/WMAディスクのとき

→ **Repeat Track** : 現在の(または指定した)ファイルをくり返し演奏
表示窓に「♪RPT」が表示されます

↓

Repeat Folder : 現在の(または指定した)フォルダ内の全ファイルをくり返し演奏
表示窓に「□RPT」が表示されます

↓

Repeat Off : リピート演奏を解除

● リピート演奏を解除する

MODEボタンを押したあと、数字ボタンの4を押して解除します。

音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く(つづき)

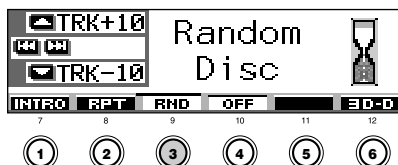
●ランダム演奏

1 MODE (M) を押す

「Mode」と表示され、数字ボタンと▲/▼ボタンが点滅します。

2 (3) を押す

「Random」と表示されます。



(3) を押すごとに、ランダム演奏のモードが切り換わります。

●音楽用CDのとき

Random Disc : CD内の全曲をランダムに演奏
表示窓に「◎RND」が表示されます。

↑↓

Random Off : ランダム演奏を解除

●MP3/WMAディスクのとき

Random Folder : フォルダ内の全ファイルをランダムに演奏
表示窓に「□RND」が表示されます。

↓

Random Disc : CD内の全ファイルをランダムに演奏
表示窓に「◎RND」が表示されます。

↓

Random Off : ランダム演奏を解除

●ランダム演奏を解除する

MODEボタンを押したあと、数字ボタンの4を押して解除します。

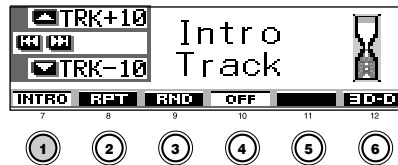
●イントロスキャン

1 MODE (M) を押す

「Mode」と表示され、数字ボタンと▲/▼ボタンが点滅します。

2 (1) を押す

「Intro」と表示されます。



(1) を押すごとに、イントロスキャンのモードが切り換わります。

●音楽用CDのとき

Intro Track : 各曲の頭を15秒ずつ演奏
表示窓に「♪INT」が表示されます

↑↓

Intro Off : イントロスキャンを解除

●MP3/WMAディスクのとき

Intro Track : 各ファイルの頭を15秒ずつ演奏
表示窓に「♪INT」が表示されます

↓

Intro Folder : 各フォルダの最初のファイルの頭を15秒ずつ演奏
表示窓に「□INT」が表示されます

↓

Intro Off : イントロスキャンを解除

・聞きたい曲(ファイル)が見つかったら、◀◀ボタンを押します。

・一通りイントロスキャンが終わると、自動で解除されます。

●イントロスキャンを解除する

MODEボタンを押したあと、数字ボタンの4を押して解除します。

ディスク演奏中の表示内容を変える

1 を押す

ボタンを押すごとに、次のように拡大表示が切り換わります。

・音楽用CDのとき



CD名*1/演奏者名



曲名



時計表示



*1 CD名を入力するときは55ページの「文字の入力のしかた」をご覧ください。入力する前は「No Name」と表示されます。

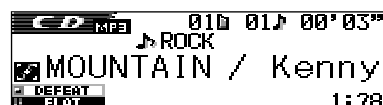
〈お知らせ〉

- 半角16文字(全角8文字)を超えると、CD名や曲名はスクロール表示されます。DISPボタンを1秒以上押したときもスクロール表示されます。
- スクロール表示は、自動で1回スクロールする設定「Once」(お買い上げ時の状態)になっています。「Auto」(自動)または「Off」(切)に変えることもできます(⇒ 48ページ)。

・MP3/WMAディスクのとき



アルバム名/演奏者名*2



曲名*2



時計表示



*2 ファイルにTagがある場合は、Tag設定を「Off」にするとアルバム/演奏者名の代わりにフォルダ名が、曲名の代わりにファイル名が表示されます。

〈お知らせ〉

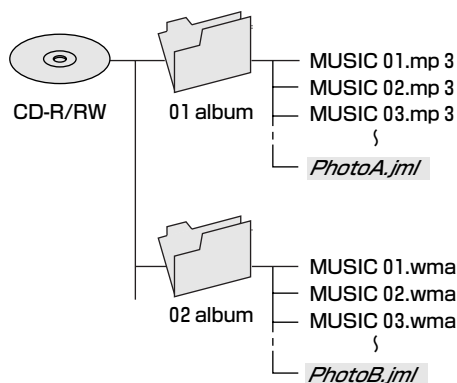
- 文字表示は半角英数字、半角カタカナ、全角文字が表示されます。
- 対応以外の文字が入力してあると、正しく表示されません。
- Tag設定については49ページをご覧ください。

音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く(つづき)

ミュージックリンクについて

ミュージックリンクは、イメージコンバーターで作成した画像を、お好みの音楽に合わせて表示させる機能です。

MP3/WMAファイル(音楽)とイメージコンバーターで作成した静止画を1点、同じフォルダに保存し、これをCD-R/RWに書き込みます。このフォルダを再生すると、音楽の演奏中にお好みの静止画を本機の表示窓に表示させることができます。



- 同じフォルダに複数の静止画があるときは、初めに表示された静止画のみ表示されます。
- ミュージックリンクの「On/Off」について詳しくは、48ページの「SELボタンを使った各種設定と調節(つづき)」の「PSMモードの機能説明(1)」の「Graphics(グラフィックス)」をご覧ください。

ディスクの盗難防止

本機に挿入したディスクを取り出せなくすることができます。



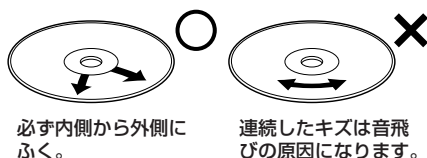
- 「No Eject」と点滅表示され、ディスクの取り出しができなくなります[▲(CD取出し)ボタンを押してもCDの挿入口が現れますが、ディスクは出てきません]。もう一度同じ操作をすると、「Eject OK」と点滅表示され、ディスクの取り出しができるようになります。

お知らせ

- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと盗難防止機能は解除されます。

ディスクのお手入れ

ディスクを挿入する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。



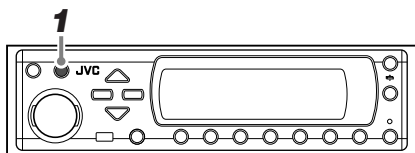
- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く

準備

- CDチェンジャー内のマガジンに聞きたいCDを入れておきます。

全曲演奏 (全CDのくり返し演奏)



1 [SRC] を押してソース(音源)を「CD-CH」にする

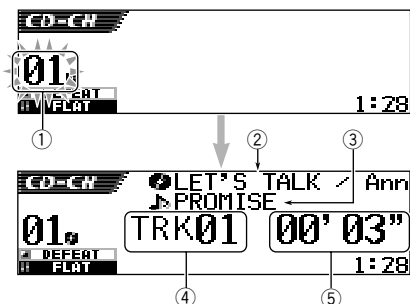
ボタンを押すごとにソース(音源)が切り換わります(⇒ 12ページ)。

リモコンで操作する

[CH] を押します。

音楽用CDのとき

最初のCDの1曲目から演奏が始まります。

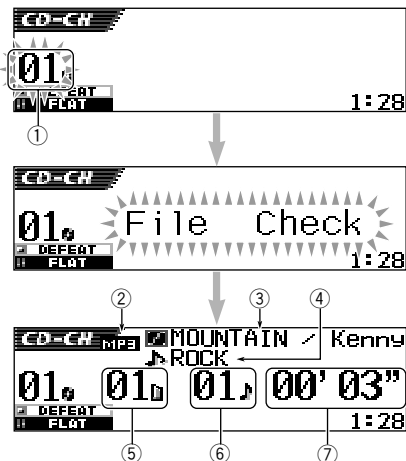


- CD番号
- CD名*/演奏者名*
- 曲名*
- 演奏中の曲番号
- 演奏中の曲の演奏経過時間

* タイトルがないときまたは入力していないときは「No Name」と表示されます。

また、CH-X1200で日本語のCDテキストを演奏しても、日本語は表示されません。

- MP3/WMAディスクのとき
ファイルチェック後、最初のCDのファイル1から演奏が始まります。



- CD番号
- ファイルの種類
- アルバム名/演奏者名(またはフォルダ名**)
- 曲名(またはファイル名**)
- 演奏中のフォルダ番号
- 演奏中のファイル番号
- 演奏中のファイルの演奏経過時間

** 「Tag」設定が「Off」のとき、またはTag情報が記録されていないとき。

演奏を途中でやめる

[SRC] を押して他のソース(音源)に切替えます。
または電源を「切」にします。

＜お知らせ＞

- MP3/WMAディスクの項目は、MP3チェンジャーを本機に接続しているときに限ります。

CD演奏中の表示内容を変える

[D] を押します。

押すごとに表示窓の表示内容が切り換わります。

CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く(つづき)

早送り/早戻しをする(サーチ)

1 / を押し続ける

早送り/早戻し演奏になります。
ボタンを離すと、通常の演奏に戻ります。

リモコンで操作する

 /  を押し続けます。

早送り/早戻し演奏になります。
ボタンを離すと、通常の演奏に戻ります。

頭出しをする(スキップ)

1 / を押す

ボタンを押すごとに前後の曲(ファイル)の頭に移動します。

ボタンを離すと、通常の演奏に戻ります。

リモコンで操作する

 /  を押します。

ボタンを押すごとに前後の曲(ファイル)の頭に移動します。

ボタンを離すと、通常の演奏に戻ります。

ダイレクト演奏

数字ボタンでダイレクトに選んだCDの1曲目から聞けます。

1 数字ボタンを押す

- 1~6枚目を選ぶときは、数字ボタンの1~6のいずれかを「ポン」と押します。

例: 3枚目を選ぶ  を「ポン」押します。

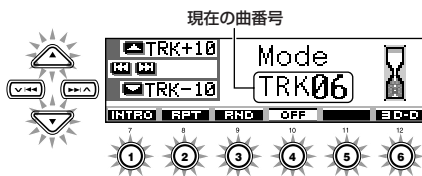
- 7~12枚目を選ぶときは、数字ボタンを1秒以上押します。

例: 12枚目を選ぶ  を1秒以上押します。

- 曲を10ずつダイレクトに選ぶ (MP3対応チェンジャーのみ)

1 を押す

「Mode」と表示され、数字ボタンと▲/▼ボタンが点滅します。



5秒以内に

2 / を押してトラックを選ぶ

もっとも近い10の倍数(10, 20, 30...)の曲番号に変わります。その後はボタンを押すごとに、10ずつ曲番号が変わります。

例: 曲番号6の演奏中に曲番号32を選ぶときは

 →  (3回押す) →  (2回押す)

曲番号6 → 10, 20, 30 → 31, 32

例: 曲番号36の演奏中に曲番号8を選ぶときは

 →  (3回押す) →  (2回押す)

曲番号36 → 30, 20, 10 → 9, 8

フォルダの頭出しをする

MP3/WMAディスクのときのみ使用できます。

-  : 押すごとに次のフォルダの頭に移ります。
-  : 再生中のフォルダの1つ前のフォルダの頭に戻ります。

プレイリストを見ながら選ぶ

CD名やフォルダ名、曲名のリストを表示させてから選択することができます。

● 音楽用CDのとき

1 / を1秒以上押してCD名を表示させる

表示窓にCD名のリストが表示されます。演奏中のCDはハイライト表示されます。

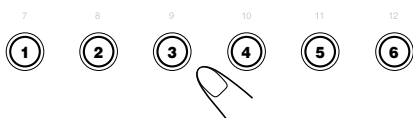
	+6	① DISC 01	④ 80'S
	-6	② ABC	⑤ 90'S
Disc		③ DISC 03	⑥ No Disc

リストには最大6つまで表示されます。

7つ目以降のCDは、 /  を押して表示させます。

- ・ CD名が入力されていないときは「DISC 03」のように表示されます。
- ・ トレイにCDが入っていないことを検出すると「No Disc」と表示されます。

2 数字ボタン(1~6)を押して選ぶ



● MP3/WMAディスクのとき

MP3/WMAディスクの演奏中は、フォルダリストやファイルリストを表示させて選択することができます。

1 / を1秒以上押してディスク名を表示させる

表示窓にディスク名のリストが表示されます。演奏中のディスクはハイライト表示されます。

2 / を押してリストを切り換える。

ボタンを押すごとに、表示されているリストが次のように切り換わります。



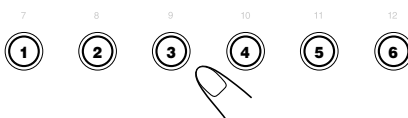
・ フォルダリストを表示しているとき

	+6	① MOUNTAIN	④ POPS
	-6	② SUMMER	⑤ 80'S
Folder		③ ROCK M	⑥ 90'S

・ ファイルリストを表示しているとき

	+6	① 001.mp3	④ 004.mp3
	-6	② 002.mp3	⑤ 005.mp3
Track		③ 003.mp3	⑥ 006.mp3

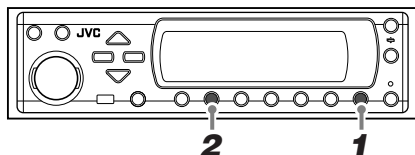
3 数字ボタン(1~6)を押して選ぶ



CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く(つづき)

いろいろな再生モードを使用する

● リピート演奏

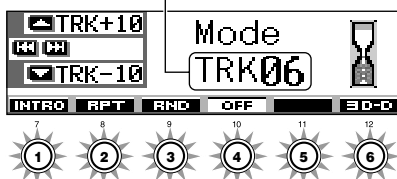


1 MODE を押す

「Mode」と表示され、数字ボタンと▲/▼ボタンが点滅します。

例：音楽用CDのとき

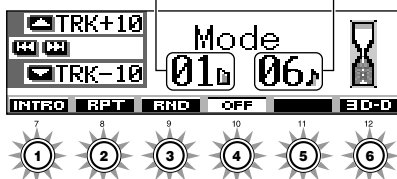
現在の曲番号



例：MP3/WMAディスクのとき

現在のフォルダ

現在のファイル番号



5秒以内に

手順2に進みます。

2 ② を押す

「Repeat」が表示されます。

② を押すごとに、リピート演奏のモードが切り換わります。

● 音楽用CDのとき

- **Repeat Track** : 現在の(または指定した)曲をくり返し演奏
表示窓に「♪RPT」が表示されます。
- **Repeat Disc** : 演奏中のCDの全曲をくり返し演奏
表示窓に「◎RPT」が表示されます。
- **Repeat Off** : マガジン内の全CDをくり返し演奏

● MP3/WMAディスクのとき

- **Repeat Track** : 現在の(または指定した)ファイルをくり返し演奏
表示窓に「♪RPT」が表示されます。
- **Repeat Folder** : 現在の(または指定した)フォルダ内の全ファイルをくり返し演奏
表示窓に「□RPT」が表示されます。
- **Repeat Disc** : 演奏中のディスクの全ファイルをくり返し演奏
表示窓に「◎RPT」が表示されます。
- **Repeat Off** : マガジン内の全CDをくり返し演奏

● リピート演奏を解除する

MODEボタンを押したあと、数字ボタンの4を押して解除します。

● ランダム演奏

1 MODE (M) を押す

「Mode」と表示され、数字ボタンと▲/▼ボタンが点滅します。

2 (3) を押す

「Random」と表示されます。

(3) を押すごとに、ランダム演奏のモードが切り換わります。

● 音楽用CDのとき

- **Random Disc** : 演奏中のCD内の全曲をランダムに演奏
表示窓に「⊙RND」が表示されます。
- ↓
- Random All** : マガジン内の全CDをランダムに演奏
表示窓に「ALL RND」が表示されます。
- ↓
- Random Off** : ランダム演奏を解除

● MP3/WMAディスクのとき

- **Random Folder** : 演奏中のフォルダ内の全ファイルをランダムに演奏
表示窓に「□RND」が表示されます。
- ↓
- Random Disc** : 演奏中のCDの全ファイルをランダムに演奏
表示窓に「⊙RND」が表示されます。
- ↓
- Random All** : マガジン内の全CDをランダムに演奏
表示窓に「ALL RND」が表示されます。
- ↓
- Random Off** : ランダム演奏を解除

● ランダム演奏を解除する

MODEボタンを押したあと、数字ボタンの4を押して解除します。

● イントロスキャン

1 MODE (M) を押す

「Mode」と表示され、数字ボタンと▲/▼ボタンが点滅します。

2 (1) を押す

「Intro」と表示されます。

(1) を押すごとに、イントロスキャンのモードが切り換わります。

● 音楽用CDのとき

- **Intro Track** : 演奏中のCDの各曲の頭を15秒ずつ演奏
表示窓に「♪INT」が表示されます。
- ↓
- Intro Disc** : マガジン内の全CDの各曲の頭を15秒ずつ演奏
表示窓に「⊙INT」が表示されます。
- ↓
- Intro Off** : イントロスキャンを解除

● MP3/WMAディスクのとき

- **Intro Track** : 演奏中のCDの各ファイルの頭を15秒ずつ演奏
表示窓に「♪INT」が表示されます。
- ↓
- Intro Folder** : 各フォルダの最初のファイルの頭を15秒ずつ演奏
表示窓に「□INT」が表示されます。
- ↓
- Intro Disc** : マガジン内の全CDの各曲の頭を15秒ずつ演奏
表示窓に「⊙INT」が表示されます。
- ↓
- Intro Off** : イントロスキャンを解除

・聞きたい曲(ファイル)が見つかったら、◀◀ボタンを押します。

・一通りイントロスキャンが終わると、自動で解除されます。

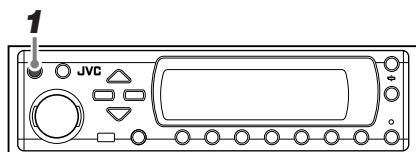
● イントロスキャンを解除する

MODEボタンを押したあと、数字ボタンの4を押して解除します。

他の機器の音を聞く

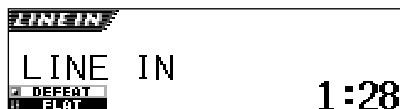
準備

- LINE IN端子に市販のカーAV機器を接続しておきます。
➡別紙の取付説明書参照



1 をくり返し押してソース(音源)を「LINE IN(ライン入力)」にする

ボタンを押すごとにソース(音源)が切替わります。(➡ 12ページ)



リモコンで操作する



を押します。

2 接続した機器を演奏状態にする

- 接続した機器に音量調節があるときは、CDなどの演奏音と同じ程度に聞こえるように調節してください。

〈お知らせ〉

- 接続ができる他の機器は、RCAの2チャンネル出力端子付のものを用意してください。接続する機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく配線してください。
- FM放送より音量が小さい(または大きい)ときは、SELボタンをくり返し押して「Vol Adj (ソース間音量)」を選び、回転ボリュームを回すと音量差を調節することができます。
(➡ 54ページ)

画像データをダウンロードする

ダウンロードをする前に

付属のCD-ROM(イメージコンバーター*)を使うと、電源の「入/切」やソース(音源)の再生音に合わせてお気に入りの映像を表示窓に表示されることができます。

* イメージコンバーターとは

JVCのオリジナルソフトウェアで、自作の映像を本機の表示窓に表示させるために、編集・加工することができます。

● CD-R/RWにお気に入りの画像を書き込む

詳しくは、添付の「イメージコンバーター操作ガイド」をご覧ください。

1 付属のCD-ROMをパソコンにインストールする

パソコンのCD-ROMドライブに入れてインストールします。

2 イメージコンバーターを起動させる

3 素材画像を読み込む

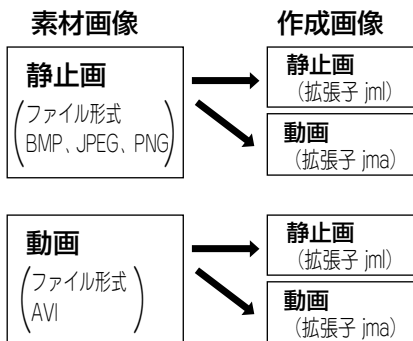
この画像を編集・加工して行きます。静止画または動画を素材画像として使うことができます。

画像は、次のようなメディアから手に入ることができます。

- Web(JVCのホームページなどより)
- デジタルカメラ、デジタルビデオカメラなどのオリジナル映像
- CD-ROMの画像集など

3 画像を作成する

素材画像の形式に関わらず、静止画または動画を作成することができます。



4 作成した画像に様々な効果を加える

各種の効果をつけたり文字の入力を行うことができます。

5 CD-R/RWに画像を書き込む

- CD-R/RWへの書き込みについて詳しくは、お使いのライティングソフトの取扱説明書をご覧ください。

：

- 作成したCD-R/RWを本機に入れ、静止画または動画をダウンロードします。

- 39ページの「画像データをダウンロードする」では、付属のCD-ROMに収録されている画像を使っでの操作を説明しています。

画像データをダウンロードする(つづき)

● ファイル名の拡張子は

静止画が<jml>、動画が<jma>です。

● ダウンロードは

ソース(音源)が「CD」のとき操作できます。本機に付属のCD-ROMまたは画像を書き込んだCD-R/RWを入れてください。

● ダウンロードや画像の消去は

- ・運転中に操作しない
 - ・途中でエンジンキーを「OFF」にしない
 - ・本機で他の操作をしない
- 事故の原因となったりダウンロードや画像の消去が正しくできないことがあります。

● ダウンロードが終わるまでの時間

- ・静止画は、1フレーム当たり約6秒～7秒かかります。
- ・動画は30フレームで約3分～4分、90フレームで約10分かかります。

● ダウンロードした画像の楽しみかた

Power On } : 電源を入れたとき(切ったとき)のアニメーションを設定するとき選びます。
Power Off }

Movie : 電源オン中のデモアニメーションを設定するとき選びます。

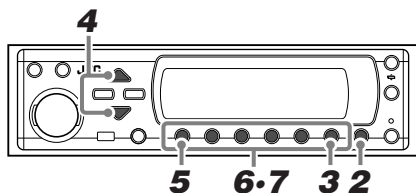
Picture : 静止画を本機に保存しておくとき選びます。90枚まで保存できます。保存した画像は、壁紙やスライドショーで楽しめます。

各設定方法は**42**ページの「表示窓の画像を変える」をご覧ください。

〈お知らせ〉

- リセットボタンを押したり、バッテリーの交換などで本機への電源が途切れてもダウンロードした画像は消去されません。

画像データをダウンロードする



1 付属のCD ROM(アプリケーションソフト)を入れる

イメージ コンバーター

- ・ Image Converter Ver1.0を文字のある面を上にして入れます。
- ・ 「CD Play」表示のあと、フォルダ数とファイル数が表示され演奏が始まります。

演奏が始まったら

2 MODE (M) を押す

「Mode」と表示され、数字ボタンと▲/▼ボタンが点滅します。



3 (6) を押す

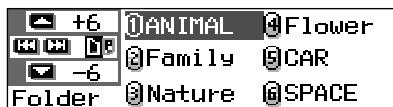


4 ▲/▼ を押してダウンロードする画像の用途を選ぶ

15秒以内に

5 (1) を押して、付属のCD ROM内の画像フォルダのリストを表示させる

「File Check」が表示されたあとフォルダリストが表示されます。このときCDからの演奏音は出なくなります。



7つ目以降のフォルダは ▲/▼ で選びます。

6 数字ボタンを押してフォルダを選び、(▶▶) を押す

ファイルリストが表示されます。



フォルダを選び直すときは (▶▶)/(◀◀) を押します。押すごとに、フォルダリストとファイルリストが交互に切り換わります。

7 数字ボタンを押してダウンロードしたい画像ファイルを選ぶ

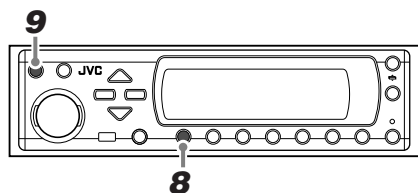
選んだファイルがハイライト表示されます。

7つ目以降のファイルは ▲/▼ で選びます。

次ページに続く

画像データをダウンロードする(つづき)

画像データをダウンロードする(つづき)



8 ①を押す

- 中止するときは数字ボタンの5を押して、手順7に戻ります。
- 数字ボタンの1を押すと
Downloading ... と表示され、ダウンロードが始まります。
この間、数字ボタンの5以外の全てのボタン操作はできません。またディスクの演奏音も出ません。
- ダウンロードを中止したいときは、ファイル選択画面に戻る前に数字ボタンの5を押します。
- ダウンロード中は車のエンジンキーを「OFF」にしないでください。

⋮

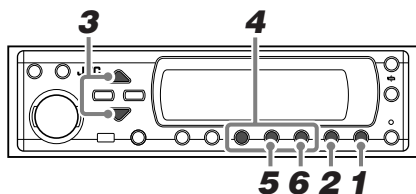
- 手順6で選んだファイル選択画面に戻るとダウンロードは終了です。

9 を押してダウンロード作業を終了する

〈お知らせ〉

- 「Power On」、「Power Off」または「Movie」を選んでダウンロードすると、自動的に上書きで取り込み、登録済みの動画を削除します。
- 「Power On」または「Power Off」のとき30フレーム以上の動画は、30フレームまでを登録します。
- 「Movie」のとき90フレーム以上の動画は、90フレームまでを登録します。
- 「Picture」のダウンロードで静止画が90枚になると、これ以上は登録できません。90枚以上登録しようとする、「ピッピッピッ」音が鳴ります。いらないファイルを削除してから登録します。
- 動作環境などによりダウンロードがうまくできないこともあります。このようなときは、ダウンロードをやり直してください。

画像を削除する



1 MODE を押す

「Mode」と表示され、数字ボタンと▲/▼ボタンが点滅します。



2 ⑥ を押す



3 ▲/▼ を押して削除したい画像の種類を選ぶ



「Power On」のとき▲ボタン、「Movie」のとき▼ボタンを押すと、全て選べます。

- 全てを選び、数字ボタンの4を押すと「All File Delete OK?」と表示されます。→手順5へ進みます。
- 手順3で「Picture」を選んだときは、ファイル選択画面になります。→手順4へ進みます。

4 数字ボタン(3または4)を押して1画像削除または全画像削除を選ぶ

- 1つの静止画を削除する
数字ボタンの3を押し、▲/▼ボタンで消したい静止画を選びます。
→「Delete OK?」と表示されます。
- 全部の静止画を削除する
数字ボタンの4を押します。
→「All Picture Delete OK?」と表示されます。
- 中止したいときは、数字ボタンの5を押します。

5 ③または④を押す

- 「Now Deleting ...」と表示され、削除が終わると、手順2の表示になります。

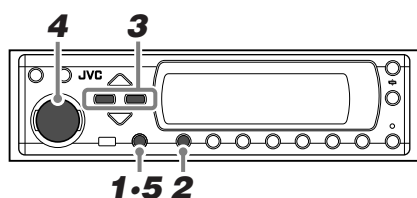
6 ⑤を押す

ソース(音源)の表示に戻ります。

＜お知らせ＞

- 画像を消去しているときは、各ボタンの操作やディスクの出し入れはできません。消去が終わってから操作してください。

表示窓の画像を変える



- パワーオンアニメやパワーオフアニメを設定する

1 SEL を2秒以上押す

PSMメニューが表示されます。

2 ①を押して「MOVIE」を選ぶ

ムービー

「Graphics」と表示されます。



3 ②/③を押して「Opening」または「Ending」を表示させる



- 「Power On」設定に画像を保存していないときは、「Opening」項目は表示されません。
- 「Power Off」設定に画像を保存していないときは、「Ending」項目は表示されません。

4 OVI/AT を回して「User」を選ぶ

User : 保存した画像データを使います。

Default : 工場出荷時の画像を使います。

5 SEL を押して終了する

- グラフィックススクリーンのアニメーションの種類を設定する

1 (SEL) を2秒以上押す

PSMメニューが表示されます。

2 (1) を押して「MOVIE」を選ぶ

「Graphics」と表示されます。



3 (ON/ATT) を回して項目を選ぶ



UserMovie : 「Movie」に保存した画像データを使います。

UserSlide : 「Picture」に保存した画像データを連続写真のように使います(スライドショー)。

UserPict. : 「Picture」に保存した画像データを1枚だけ使います。

4 (SEL) を押して終了する

- グラフィックススクリーンの静止画を設定する

1 (SEL) を2秒以上押す

PSMメニューが表示されます。

2 (1) を押して「MOVIE」を選ぶ

「Graphics」と表示されます。



3 (ON/ATT) を回して「UserPict.」を選ぶ



4 (RIGHT/LEFT) を押して「UserPict.」を表示させる



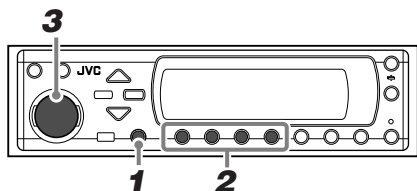
5 (ON/ATT) を回して画像を選ぶ

6 (SEL) を押して終了する

DSPモードを使う

DSPのモードを選ぶ

ソース(音源)の再生音に合わせて音場を選ぶと、劇場や演奏会場の雰囲気が再現されます。

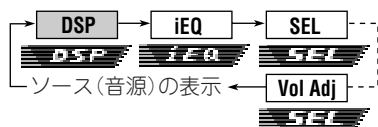


1 SELを「ポン」と押す

前回選んだDSPのモードが表示されます。



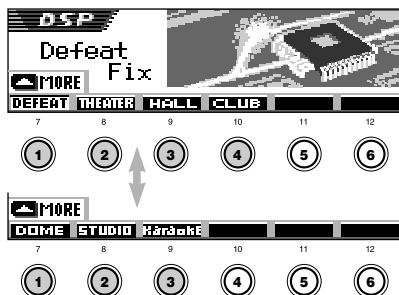
ボタンをくり返し押すと、音質調節画面が表示されます。



2 数字ボタンを押してDSPのモードを選ぶ

DSPの各モードは2つの画面から選べます。

画面の切り換えは / を押します。



3



を回して効果レベルを選ぶ

選んだDSPモードの効果レベル「1」、「2」、「3」から選びます。数字が大きくなると効果が大きくなります。

効果レベルは、「DEFEAT」または「KARAOKE」以外のモードで選べます。



15秒間何も操作しないと、元のソース(音源)の表示に戻ります。

DSPの音場について

TEATHER : 映画音楽ビデオソフトの音声

HALL : 大規模なホールでのライブ盤

CLUB : ロックバンドの演奏

DOME : ドーム球場などのライブ盤

STUDIO : 録音スタジオのライブ盤

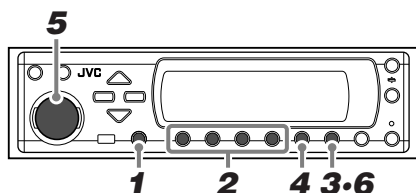
KARAOKE : 歌入りの曲をカラオケにするととき(ボーカルキャンセル)

DEFEAT : 入力された音がそのまま出力されます。
DSPモードを「切」にしたいときはこれを選びます。

DSPのモードを詳細に調節する

お車の環境に合わせてDSPのモードをより詳細に調節することができます。

この調節は、「DEFEAT」または「KARAOKE」以外のDSPのモードでできます。



1 SEL を「ポン」と押す

前回選んだDSPのモードが表示されます。

2 数字ボタンを押してDSPのモードを選ぶ

「DEFEAT」または「KARAOKE」以外を選びます。

3 ⑥ を押す

シートのイメージが表示されます。



次に数字ボタン(1~4)を押して、車内でのリスニングポジションを設定します。

- LEFT : フロント左側の座席だけで聞くと
- RIGHT : フロント右側の座席だけで聞くと
- FRONT : フロントの左右両座席で聞くと
- ALL : 全座席で聞くと
(お買い上げ時の設定)

- ・フェーダーやバランスを極端に偏るように設定すると、十分な効果が得られないことがあります。

4 ⑤ を押してスピーカーのチャンネル数を選ぶ

ボタンを押すごとに「4ch」と「2ch」が交互に切り換わります。

- ・「4ch」に設定したときは、次の手順5で車のサイズを設定することができます。
- ・「2ch」に設定したときは、手順6に進みます。車のサイズは「Fix(固定)」になります。

5 ⑤ を回して車のサイズを設定する(タイムアジャストメント機能*)

Compact ↔ Middle ↔ Large

車のイメージが表示されます。

- Compact : リアスピーカーの方がリスニングポジションに近いとき
- Middle : フロントスピーカーとリアスピーカーがリスニングポジションからほぼ等距離にあるとき
(お買い上げ時の設定)
- Large : リアスピーカーの方がリスニングポジションから遠いとき

6 ⑥ を押す

DSPのモードが表示されます。

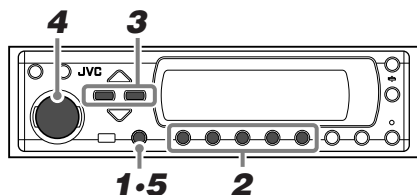
15秒間何も操作しないと、元のソース(音源)の表示に戻ります。

* タイムアジャストメント機能とは…

「車のサイズ」を設定することで最適なリスニング環境で聞けるように、出力信号にデジタル処理で遅延をかけて、仮想的に時間補正をする機能のことです。

SELボタンを使った各種設定と調節

PSMモードの設定方法



1 SEL を2秒以上押す

PSMメニューが表示されます。



2 数字ボタン(1～5)を押して PSMのメニューを選ぶ

3 右向きボタンを押してPSMメニューの項目を選ぶ

→ 47ページの「PSMモードの一覧」をご覧ください。

- 左向きボタンを押すとメニューの項目が逆に選べます。

4 回転ダイヤルを回して設定または調節をする

各項目の設定の詳細は、47～49ページをご覧ください。

5 SEL を押す

設定ができたあとは、SEL を押して終了します。

SEL を押さないときは、15秒後に自動で終了します。

〈お知らせ〉

- 手順3で▶▶(または◀◀)ボタンをくり返し押すと、次のPSMメニューの項目が表示されます。
- 各操作は、15秒以上間隔を空けないでください。
- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、設定した内容は初期設定に戻ります。

PSMモードの一覧

	メニュー表示	設定値	初期設定	参照 ページ
MOVIE	Graphics 映像設定	48 ページ参照	All Demo	48
	KeyIn CFM アニメ表示の設定	Long ↔ Short ↕ Off ↗	Long	48
	Opening^{*1} パワーオンアニメ設定	Default ↔ User	Default	42
	Ending^{*1} パワーオフアニメ設定	Default ↔ User	Default	42
	UserPict^{*2} ユーザー画像設定	保存したファイルから選択	—	43
CLOCK	Clock Hr 時計設定(時)	戻す ↔ 進める	1 (1:00AM)	13
	Clock Min 時計設定(分)	戻す ↔ 進める	00 (1:00AM)	13
	24H/12H 時計設定(24/12表記)	12Hours ↔ 24Hours	12Hours	13
DISP (ディスプレイ)	Scroll スクロール設定	Once ↔ Auto ↕ Off ↗	Once	48
	Dimmer ディマー設定	↔ Auto ↔ Off ↕ Time Set ↔ On ↗	Auto	48
	From-To^{*3} ディマー時間連動設定	開始/終了時刻を設定	6PM - 7AM	48
	Contrast コントラスト	1 ~ 10	5	48
	LCD Type 液晶表示設定	Auto ↔ Positive ↕ Negative ↗	Auto	49
	Tag タグ表示設定	Off ↔ On	On	49
TUNER	Theme レベルメーター設定	↔ Standard ↔ Meter 1 ↕ Meter 3 ↔ Meter 2 ↗	Standard	49
	St. Area チューナー設定	↔ エリアナシ ↔ 北海道 ↕ 沖縄 ↔ ... ↗	エリアナシ	49
	IF Filter IFフィルター設定	Wide ↔ Auto	Auto	19
AUDIO	Beep キー入力音設定	Off ↔ On	On	49
	Line In^{*4} ライン入力設定	Off ↔ On	On	49
	Muting ミューティング設定	Off ↔ Muting1 ↕ Muting2 ↗	Off	49
	Amp.Gain アンプ出力設定	High Power ↔ Low Power ↕ Off ↗	High Power	49

*1 画像をダウンロードしていないときは表示されません。

*2 画像をダウンロードし、「Graphics」を「UserPict」に設定していないときは表示されません。

*3 「Dimmer」が「Time Set」に設定されていないときは表示されません。

*4 現在のソース(音源)が「LINE IN」のときは表示されません。

SELボタンを使った各種設定と調節(つづき)

PSMモードの機能説明(1)

PSMメニュー：MOVIE

Graphics(グラフィックス)

表示窓のデモ表示を設定します。

- All Demo*¹ : 20秒以上何も操作をしないとデモ表示になります。
- Int Demo : 20秒以上何も操作をしないとソース(音源)表示が20秒間隔でデモ表示になります。
- User Movie*² : 「Movie」に保存したアニメをデモ表示させます。
- User Slide*³ : 「Picture」に保存した静止画を次々とデモ表示させます。
- User Pict.*³ : 「Picture」に保存した静止画をデモ表示させます。
- MusicLink : MP3(WMA)のフォルダから曲の演奏に合わせてお好みの静止画を表示することができます。
- Off : デモ表示なし。

*¹ All Demoのデモ表示について

車やスポーツシーン、景色、EQ設定アニメなどを表示します。

*² 「Movie」にアニメをダウンロードしていないときは、表示されません。詳しくは「画像データをダウンロードする」(⇒ 37～40ページ)をご覧ください。

*³ 「Picture」に静止画をダウンロードしていないときは、表示されません。詳しくは「画像データをダウンロードする」(⇒ 37～40ページ)をご覧ください。

KeyIn CFM(アニメ表示の設定)

電源のオン/オフ、ソース(音源)切換え、EQの選択時などに表示される動画アニメを設定します

- Long : すべてのアニメを表示します。
- Short : ソース(音源)切換えのアニメのみ表示します。
- Off : SRCアニメなし

Opening(オープニング)

電源をオンにしたときに表示される動画アニメを設定します。詳しくは42ページをご覧ください。

- Default : 通常のアニメを表示します。
- User : ダウンロードしたアニメを表示します。

Ending(エンディング)

電源をオフにしたときに表示される動画アニメを設定します。詳しくは42ページをご覧ください。

- Default : 通常のアニメを表示します。
- User : ダウンロードしたアニメを表示します。

UserPict.(ユーザー画像設定)

「Picture」にダウンロードした静止画の中から、デモ表示させる静止画を選びます。ダウンロードした静止画がないときは、表示されません。

- 画像名

PSMメニュー：DISP(ディスプレイ)

Scroll(スクロール)

表示窓の文字表示(11文字以上)がスクロール表示されるときにモードを変えることができます。

- Once : 名前表示を切換えたとき1回スクロールする。
- Auto : 一定間隔でスクロールをくり返す。
- Off : DISPボタンを1秒以上押したときだけスクロールする。

なお、放送局名は、スクロール表示されません。

Dimmer(ディマー)

表示窓および各ボタンの明るさを状況に応じて変えることができます。

- Auto : 車両のライトを「ON」にすると変わります。
(本機の「イルミネーション」コードを車両のイルミ電源に接続しておきます)
- Off : 変わりません。
- On : 常時暗くなります。
- Time Set : 「From-To」で設定した時間になると自動的にディマーが働きます。

From-To*

設定された時間になるとディマーが自動で働きます。Fromで設定された時間になると自動でディマーがオンになり、Toで設定された時間になると自動的にオフになります。

* From-Toの項目は「Dimmer」を「Time Set」に設定していない場合には表示されません。

Contrast(コントラスト)

表示窓のコントラストを調節することができます。運転席から表示窓がよく見えるように調節します。

- Contrast 1～10の範囲で調節できます。

PSMモードの機能説明(2)

PSMメニュー：DISP(ディスプレイ)

LCD Type(液晶表示)

お好みに合わせて表示窓のタイプを選ぶことができます。

- ・ Positive : 通常のタイプ(ポジ)
- ・ Negative : 通常の反転表示(ネガ)
- ・ Auto : 車両のライトを「ON」にすると変わります。

ライト「OFF」: Positive

ライト「ON」: Negativeに変わる。

(本機の「イルミネーション」コードを車両のイルミ電源に接続しておきます)

Tag(タグ)

MP3/WMAディスクのTag表示を「オン/オフ」することができます。

- ・ On : Tag表示をする。
- ・ Off : Tag表示をしない。

Theme(テーマ)

表示窓にレベルメーターを表示させます。

- ・ Standard : レベルメーターを表示しません。
- ・ Meter 1～3 : 3種類のメーターを表示します。

PSMメニュー：TUNER

St. Area(エリア)

お使いになる地域の放送局を受信したとき、自動でその放送局名を表示させることができます。

- ・ エリアナシ : 放送局名は表示しません。
- ・ 北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄 : お使いの地域を選んでください。

(地域ごとの放送局名は、「放送局一覧」(→ 58～61ページ)をご覧ください)

IF Filter(IFフィルター)

隣接妨害波の影響を軽減することができます。

- ・ Auto : 隣接妨害波の有無によって自動でIFフィルターの帯域幅を切り換える。
- ・ Wide : 通常の帯域幅のIFフィルターに固定する。

PSMメニュー：AUDIO

Beep(ビープ)

ボタン操作時の「ビップ」音を「オン/オフ」することができます。

- ・ On : ビープ音あり
- ・ Off : ビープ音なし

Line In(ラインイン)

ライン入力機器をソース(音源)にするかどうかを設定します。
ソース(音源)を「LINE IN」以外にしてから切替えます。

- ・ On : ライン入力機器をソース(音源)にします。
- ・ Off : ライン入力機器を使用しないとき。

Muting(ミュートイング)

市販のカーナビゲーションのボイスコマンド入力時または音声ガイド中に、本機の音声を一時的に消音(ミュートイング)することができます。

- ・ Muting1 : 「ミュートイング」コード(茶)を接続したあと、通常はこの位置で使います。
ミュートイングが「ON/OFF」することを確認してください。
- ・ Muting2 : ミュートイング1ではミュートイングが「ON/OFF」しないとき。ミュートイングが「ON/OFF」することを確認してください。
- ・ Off : 本機能を使用しないとき。
またはMuting1/2ともミュートイングが正しく動作しないとき、この位置にします。

なお、ミュートイングによって音声が出ないときは、本機の表示窓に「Muting」が点滅表示されます。

Amp. Gain(アンプゲイン)

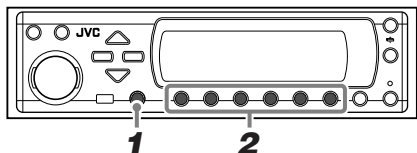
本機に接続しているスピーカーの出力ワット数に合わせて設定します。また、本機をプリアンプとして使うこともできます。

- ・ High Power : スピーカーの出力が50Wを超えるとき
- ・ Low Power : スピーカーの出力が30W程度するとき
- ・ Off : 本機のアンプを使用しないとき

iEQ*の使いかた

EQパターンを選ぶ

本機には、あらかじめ12のiEQパターンがメモリーされています。



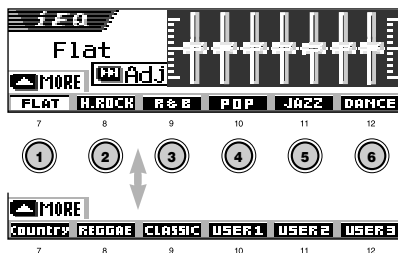
● 選択可能なEQパターン

- ・ Flat
(フラットな音で出力されます)
- ・ H.ROCK (ハードロック)
- ・ R & B (リズム&ブルース)
- ・ POP (ポップ)
- ・ JAZZ (ジャズ)
- ・ DANCE (ダンスミュージック)
- ・ Country (カントリー)
- ・ REGGAE (レゲエ)
- ・ CLASSIC (クラシック)
- ・ USER 1
- ・ USER 2
- ・ USER 3

2 数字ボタン(1~6)を押してEQパターンを選ぶ

EQパターンは2つの画面から選べます。

画面の切り換えは / を押します。

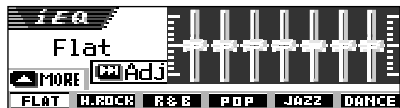


リモコンで操作する

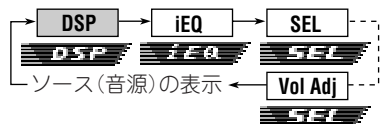
を押すごとに、EQパターンがダイレクトに選べます。

1 を2回押す

前回選んだEQパターンが表示されます。



ボタンをくり返し押すと、音質調節画面が表示されます。

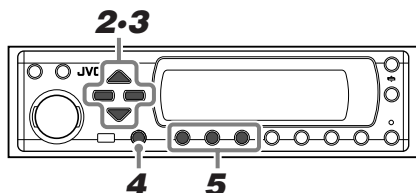


〈お知らせ〉

- User1~User3には、ご自分で調節したEQのバンドとレベルがメモリーできます(⇒ 51ページ)。お買い上げ時はFlatと同じEQパターンになっています。
- Hard Rock~Classicには、ご自分で調節したEQパターンはメモリーできません。
- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと調節したEQパターンはFlatと同じEQパターンに戻ります。

* iEQは：
intelligent Equalizer(インテリジェントイコライザー)の略で等化器とも呼ばれ、周波数特性に変化を与える回路の総称。

調節したEQを記憶(メモリー)する

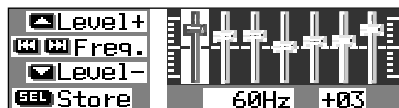


1 調節したいEQパターンを選ぶ

50 ページ手順 1・2 参照

5秒以内に

2 調節モードにする



バンド:

3-1の操作で変わる

EQレベル:

3-2の操作で変わる

・以下の項目が調節できます。

バンド	EQレベル
60 Hz	-05~00~+05
150 Hz	-05~00~+05
400 Hz	-05~00~+05
1 kHz	-05~00~+05
2.4 kHz	-05~00~+05
6 kHz	-05~00~+05
12 kHz	-05~00~+05

15秒以内に

3 EQを調節する

3-1 / を押してバンド (60Hz、150Hz、400Hz、1kHz、2.4kHz、6kHz、12kHz)を選ぶ

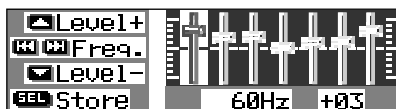
3-2 / を押してEQレベルを調節する

3-3 手順**3-1**~**3-2**をくり返す

15秒以内に

4 SELを押す

調節したEQのバンドとレベルをメモリーする確認画面になります。



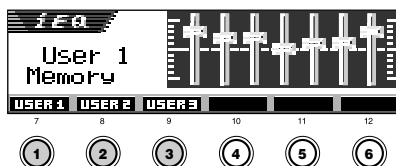
・取り消すときは、 ボタンを押します。

15秒以内に

5 数字ボタン(1~3)を押してメモリーしておくパターン (USER1~USER3)のいずれかを選ぶ

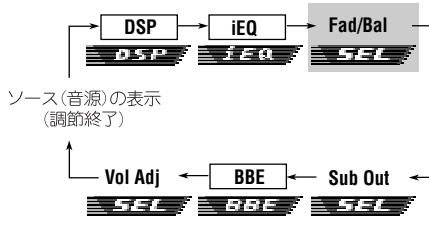
「Memory」が表示され、調節したEQのバンドとレベルがメモリーされます。

・例: User 1にメモリーするとき



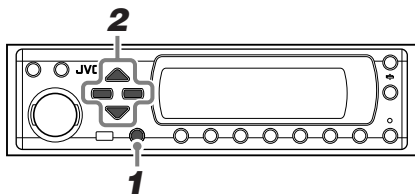
音量の調節

SELボタンを押すごとに、次のように音質調節画面が切り換わります。



スピーカーの音量を調節する

左右のスピーカーからの音声の出力バランスや、前後の出力バランスを調節します。



1 SELを3回押す

フェーダー/バランス調節画面が表示されます。



5秒以内に

2 フェーダーを ▲/▼ で、 バランスを ◀▶/◂◃ で調節する

- ▲ : リア出力を下げる
- ▼ : フロント出力を下げる
- ◀▶ : 左チャンネル出力を下げる
- ◂◃ : 右チャンネル出力を下げる

● 初期設定状態と調節範囲

	初期設定	調節範囲
Fad (フェーダー)	00 (センター)	リア フロント R06~F06
Bal (バランス)	00 (センター)	ライト レフト R06~L06

リモコンで操作する

フェーダー/バランス調節画面は、リモコンの **SEL** を押しても表示できます。

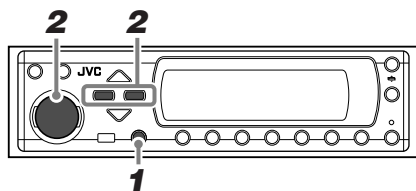
フェーダー/バランス調節画面を表示後、本体の操作と同様に次のボタンで調節できます。

- DISC ▲/▼ : フェーダーを調節
- PRESET ◀▶/◂◃ : バランスを調節

＜お知らせ＞

- フェーダー調節は、4スピーカー接続のときに限り調節してください。

サブウーハーの音量を調節する



1 SEL を4回押す

「Sub Out」と表示されます



5秒以内に

2 〇でサブウーハー出力を、<=>/<=>でカットオフ周波数を調節する



：サブウーハーの出力を調節する

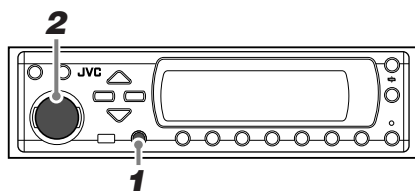


：カットオフ周波数を切り換える

●初期設定状態と調節範囲

	初期設定	調節範囲
サブウーハー出力	04	00～08
カットオフ周波数	Mid (85Hz)	Low/Mid/High (55Hz/85Hz/115Hz)

BBEを使う



1 SEL を5回押す

「BBE」と表示されます



5秒以内に

2 〇を回してBBEの効果レベルを調節する

●初期設定状態と調節範囲

	初期設定	調節範囲
BBE	Off	Off ~ 3

●BBEデジタルについて

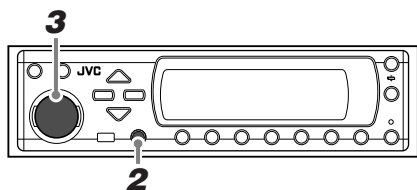
BBEシステムは、音楽信号が回路を通過するときには発生する高周波成分の時間遅延・振幅の狂いを、位相補正と高域ブーストの組み合わせにより修復し、原音の波形に極めて近いものに戻します。このBBEシステムをデジタル処理することにより、さらに精密で理想的なBBEシステムの処理が可能となります。

- この製品はBBE Sound, Inc.からの実施権に基づき製造されています。
- この製品は米国BBE Sound, Inc.の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc.の登録商標です。

音量の調節(つづき)

ソース(音源)ごとの音量差を調節する

AM放送やLINE INなどの音がFM放送の音より小さい(または大きい)ときは、音量差を調節することができます。

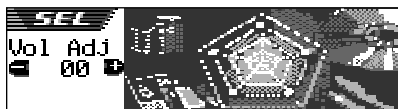


1 ソース(音源)を選ぶ

- ・ AM、CD、CD-CH(CDチェンジャー)またはLINE INから選びます。

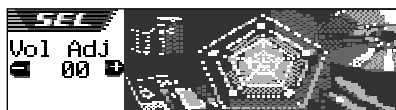
2 SEL を6回押す

「Vol Adj」と表示されます。



5秒以内に

3 SEL を回してソース(音源)の音量を調節する



	初期設定	調節範囲
Vol Adj	00	-05 ~ +05

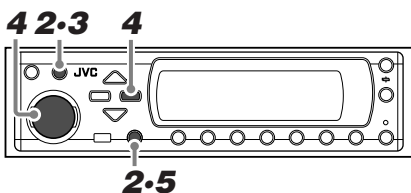
- ・ 調節したレベルが表示窓に表示されます。
- ・ ソース(音源)が「FM1」または「FM2」のときは、表示窓にレベル表示の代わりに「Fix」が表示され、調節できません。
- ・ 調節から5秒後に、自動でソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- Vol Adj(ソース間音量)は、FM放送の音量を基準にしています。したがってソース(音源)がFMのときは、表示窓に「Fix」が表示され調節できません。
また、「道路交通情報を聞く」(⇒ 18ページ)のときも、「Fix」が表示され調節できません。

文字の入力のしかた

30局分/最大10文字の放送局名と40枚分/最大32文字のディスク名、最大8文字のLINE INの名称を登録しておくことができます。



1 文字を入力したいソース(音源)を選ぶ

- FM、AM、CD、CD-CH(CDチェンジャー)またはLINE INのいずれかを選びます。

2 DISPを押したままSELを同時に2秒以上押す

- 例：FM1のとき



カーソル

30秒以内に

3 DISPで文字の種類を選ぶ

英大文字 → 英小文字
↑
カタカナ ← 数字・記号

- 文字の種類についてはの67ページの「文字配列表」をご覧ください。

30秒以内に

4 4 と で文字を入力する

4.1 文字を選び…



逆方向に戻す 順方向に進める

4.2 カーソルを右に移す



カーソルを左に戻すとき

(4.1と4.2をくり返す)

文字を間違えたときはJ◀◀ボタンでカーソルを戻し回転ボリュームで正しい文字を上書きします。スペース(空白)を選んで▶▶ボタンを押すと、文字を消すこともできます。

30秒以内に

5 SELを押して入力を確定する

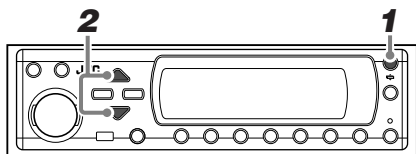
- 入力した文字を確定するときは、必ずSELボタンを押してください。押さないと確定されません。

＜お知らせ＞

- CDテキストには、ディスク名の登録ができません。
- 31局目の放送局名または41枚目のディスク名を入力しようとしても、「Name Full」が表示されて入力モードに入ることはできません。この場合、あらかじめ不要な名称を削除してから再度入力してください。
- 全てスペース(空白)を入力し、確定すると名称を削除することができます。
- 文字を入力したあとDISPボタンを1秒以上押すと、一括して消去することができます。

コントロールパネルの角度を変える

コントロールパネルの角度を4段階に調節することができます。



1 「Angle」と表示されるまで ▲ を押し続ける



▲ / ▼ が点滅します。

2 ▲ / ▼ を押して好みの角度を選ぶ

ボタンを押すごとに、コントロールパネルの角度が変化します。

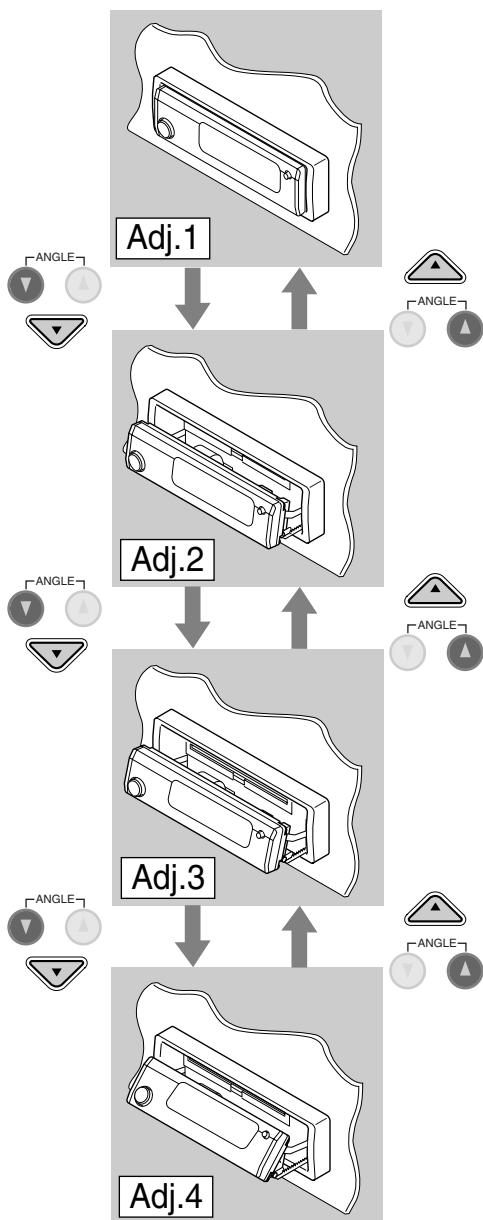
リモコンで操作する

▲ / ▼ を押します。

リモコンからは、いつでもボタンを押してダイレクトに角度を変えることができます。

ご注意

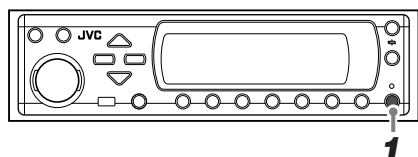
- コントロールパネルが動いているときに、本体との間に指などを挟まないようにしてください。けがや故障の原因となることがあります。
- 角度を変えて使っているとき、電源を「切」にすると「Adj.1」に戻ってから切れます。再び電源を「入」にすると、元の角度に戻ります。



コントロールパネルの着脱

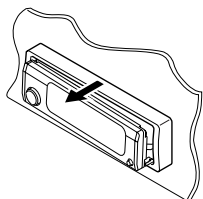
コントロールパネルを外す

コントロールパネルを取り外すことができます。

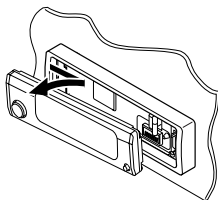


1 を押す

コントロールパネルの右側がせり出します。

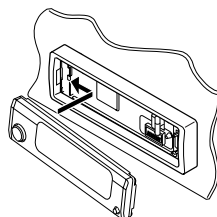


2 コントロールパネルをゆっくり右方向に引きながら、本体から外す

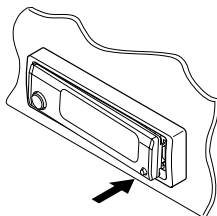


コントロールパネルを取り付ける

1 コントロールパネルを本体の内側の溝に左側から合わせる



2 コントロールパネルの右側を静かに押して、本体に取り付ける



〈お知らせ〉

- お買い上げ時は、コントロールパネルが本体から外れています。

コントロールパネルの角度を変える・コントロールパネルの着脱

放送局名一覧

	放送局名	場所	周波数
北海道(FM)	AIR-G'	札幌	80.4MHz
	FMノースウェーブ	〃	82.5MHz
	NHK-FM	〃	85.2MHz
	〃	旭川	85.8MHz
	〃	北見	86.0MHz
	〃	函館	87.0MHz
	〃	帯広	87.5MHz
	〃	室蘭	88.0MHz
	〃	釧路	88.5MHz
	〃	〃	〃
北海道(AM)	NHK第1	札幌	567kHz
	〃	釧路	585kHz
	〃	帯広	603kHz
	〃	旭川	621kHz
	STVラジオ	函館	639kHz
	NHK第1	〃	675kHz
	NHK第2	北見	702kHz
	〃	札幌	747kHz
	HBCラジオ	旭川	864kHz
	〃	室蘭	864kHz
	STVラジオ	釧路	882kHz
	HBCラジオ	函館	900kHz
	STVラジオ	網走	909kHz
	NHK第1	室蘭	945kHz
	STVラジオ	帯広	1,071kHz
	NHK第2	室蘭	1,125kHz
	〃	帯広	1,125kHz
	〃	釧路	1,152kHz
	NHK第1	北見	1,188kHz
	STVラジオ	旭川	1,197kHz
	HBCラジオ	帯広	1,269kHz
	〃	札幌	1,287kHz
	〃	稚内	1,368kHz
	〃	釧路	1,404kHz
	STVラジオ	札幌	1,440kHz
	HBCラジオ	網走	1,449kHz
	NHK第2	函館	1,467kHz
	HBCラジオ	名寄	1,494kHz
	NHK第2	旭川	1,602kHz

	放送局名	場所	周波数
東北地方(FM)	FM岩手	盛岡	76.1MHz
	FM仙台	仙台	77.1MHz
	エフエム青森	青森	80.0MHz
	FM山形	山形	80.4MHz
	ふくしまFM	郡山	81.8MHz
	NHK-FM	山形	82.1MHz
	〃	〃	〃
	FM秋田	仙台	82.5MHz
	NHK-FM	秋田	82.8MHz
	〃	盛岡	83.1MHz
東北地方(FM)	〃	福島	85.3MHz
	〃	青森	86.0MHz
	〃	秋田	86.7MHz
	NHK第1	盛岡	531kHz
	〃	山形	540kHz
	IBC岩手放送	盛岡	684kHz
	NHK第2	秋田	774kHz
	NHK第1	仙台	891kHz
	山形放送	山形	918kHz
	秋田放送	秋田	936kHz
東北地方(AM)	NHK第1	青森	963kHz
	NHK第2	仙台	1,089kHz
	青森放送	青森	1,233kHz
	東北放送	仙台	1,260kHz
	NHK第1	福島	1,323kHz
	NHK第2	盛岡	1,386kHz
	ラジオ福島	福島	1,458kHz
	NHK第1	秋田	1,503kHz
	NHK第2	山形	1,521kHz
	AFN	三沢	1,575kHz
関東地方(FM)	NHK第2	福島	1,602kHz
	インター FM	東京	76.1MHz
	FM 栃木	宇都宮	76.4MHz
	放送大学	東京	77.1MHz
	BAY-FM	船橋	78.0MHz
	FM-FUJI	三ツ峠	78.6MHz
	放送大学	前橋	78.8MHz
	NACK 5	さいたま	79.5MHz
	TOKYO FM	東京	80.0MHz
	NHK-FM	宇都宮	80.3MHz
関東地方(FM)	〃	千葉	80.7MHz
	〃	〃	〃

	放送局名	場所	周波数
関東地方(FM)	J-WAVE	東京	81.3MHz
	NHK-FM	前橋	81.6MHz
	〃	横浜	81.9MHz
	〃	東京	82.5MHz
	〃	水戸	83.2MHz
関東地方(FM)	FMヨコハマ	横浜	84.7MHz
	NHK-FM	さいたま	85.1MHz
	FM群馬	前橋	86.3MHz
関東地方(AM)	NHK第1	東京	594kHz
	NHK第2	〃	693kHz
	AFN	〃	810kHz
	TBSラジオ	〃	954kHz
	文化放送	〃	1,134kHz
	茨城放送	水戸	1,197kHz
	ニッポン放送	東京	1,242kHz
	ラジオ日本	横浜	1,422kHz
	栃木放送	宇都宮	1,530kHz
中部地方(FM)	FM福井	福井	76.1MHz
	FM新潟	新潟	77.5MHz
	ZIP FM	名古屋	77.8MHz
	新潟県民エフエム	新潟	79.0MHz
	K-MIX	静岡	79.2MHz
	RADIO-i	名古屋	79.5MHz
	FM長野	美ヶ原	79.7MHz
	岐阜FM	高山	80.0MHz
	FM石川	金沢	80.5MHz
	FM AICHI	名古屋	80.7MHz
	NHK-FM	富山	81.5MHz
	〃	金沢	82.2MHz
	〃	新潟	82.3MHz
	〃	名古屋	82.5MHz
	FM とやま	富山	82.7MHz
中部地方(FM)	FM-FUJI	坊ヶ峰	83.0MHz
	NHK-FM	福井	83.4MHz
	〃	岐阜	83.6MHz
	〃	長野	84.0MHz
	〃	甲府	85.6MHz
	〃	静岡	88.8MHz

	放送局名	場所	周波数
中部地方(AM)	NHK第2	静岡	639kHz
	NHK第1	富山	648kHz
	〃	名古屋	729kHz
	北日本放送	富山	738kHz
	YBSラジオ	甲府	765kHz
	NHK第1	長野	819kHz
	〃	新潟	837kHz
	福井放送	福井	864kHz
	NHK第1	静岡	882kHz
	NHK第2	名古屋	909kHz
	NHK第1	福井	927kHz
	〃	甲府	927kHz
	NHK第2	富山	1,035kHz
	CBCラジオ	名古屋	1,053kHz
	信越放送	長野	1,098kHz
近畿地方(FM)	北陸放送	金沢	1,107kHz
	新潟放送	新潟	1,116kHz
	NHK第1	金沢	1,224kHz
	東海ラジオ	名古屋	1,332kHz
	NHK第2	金沢	1,386kHz
	静岡放送	静岡	1,404kHz
	岐阜ラジオ	岐阜	1,431kHz
	NHK第2	長野	1,467kHz
	〃	福井	1,521kHz
	〃	新潟	1,593kHz
	〃	甲府	1,602kHz
	FM CO・CO・LO	生駒山	76.5MHz
	E-Radio	滋賀	77.0MHz
	Kiss-FM KOBE	姫路	77.6MHz
近畿地方(FM)	FM三重	津	78.9MHz
	FM 802	大阪	80.2MHz
	NHK-FM	津	81.8MHz
	〃	京都	82.8MHz
	〃	大津	84.0MHz
	〃	和歌山	84.7MHz
	FM大阪	大阪	85.1MHz
	NHK-FM	神戸	86.5MHz
	〃	奈良	87.4MHz
	〃	大阪	88.1MHz
	FM京都	京都	89.4MHz
	Kiss-FM KOBE	神戸	89.9MHz

放送局名一覧(つづき)

	放 送 局 名	場 所	周 波 数		放 送 局 名	場 所	周 波 数
近畿地方(AM)	AM KOBE	神戸	558kHz	四国地方(AM)	NHK-FM	高松	86.0MHz
	NHK第1	京都	621kHz		〃	高知	87.5MHz
	〃	大阪	666kHz		〃	松山	87.7MHz
	NHK第2	〃	828kHz	四国地方(AM)	高知放送	高知	900kHz
	ABCラジオ	〃	1,008kHz		NHK第1	徳島	945kHz
	KBS京都	京都	1,143kHz		〃	松山	963kHz
中国地方(AM)	MBSラジオ	大阪	1,179kHz		〃	高松	990kHz
	ラジオ大阪	〃	1,314kHz		NHK第2	高松	1,035kHz
	和歌山放送	和歌山	1,431kHz		南海放送	松山	1,116kHz
中国地方(FM)	FM岡山	岡山	76.8MHz	九州地方(AM)	NHK第2	高松	1,152kHz
	エフエム山陰	松江	77.4MHz		四国放送	徳島	1,269kHz
	広島FM	広島	78.2MHz		NHK第1	高松	1,368kHz
	FM山口	山口	79.2MHz		西日本放送	〃	1,449kHz
	NHK-FM	松江	84.5MHz		NHK第2	松山	1,512kHz
	〃	山口	85.3MHz	九州地方(FM)	Love FM	福岡	76.1MHz
中国地方(AM)	〃	鳥取	85.8MHz		FM中九州	熊本	77.4MHz
	エフエム山陰	浜田	86.6MHz	九州地方(FM)	FM佐賀	佐賀	77.9MHz
	NHK-FM	広島	88.3MHz		CROSS FM	福岡	78.7MHz
	〃	岡山	88.7MHz		SMILE-FM	長崎	79.5MHz
中国地方(FM)	NHK第1	〃	603kHz		FM鹿児島	鹿児島	79.8MHz
	〃	山口	675kHz		FM福岡	福岡	80.7MHz
	NHK第2	広島	702kHz	九州地方(AM)	NHK-FM	佐賀	81.6MHz
	山口放送	徳山	765kHz		FM宮崎	宮崎	83.2MHz
	山陰放送	米子	900kHz		NHK-FM	長崎	84.5MHz
	NHK第1	下関	1,026kHz		〃	福岡	84.8MHz
中国地方(AM)	〃	広島	1,071kHz		〃	熊本	85.4MHz
	NHK第2	鳥取	1,125kHz	九州地方(FM)	〃	鹿児島	85.6MHz
	NHK第1	松江	1,296kHz		〃	北九州	85.7MHz
	中国放送	広島	1,350kHz		〃	佐世保	86.0MHz
	NHK第1	鳥取	1,368kHz		〃	宮崎	86.2MHz
	NHK第2	山口	1,377kHz		FM大分	大分	88.0MHz
四国地方(FM)	〃	岡山	1,386kHz		NHK-FM	〃	88.9MHz
	山陽放送	〃	1,494kHz	九州地方(AM)	NHK第1	宮崎	540kHz
	AFN	山口	1,575kHz		〃	鹿児島	576kHz
	NHK第2	松江	1,593kHz		〃	福岡	612kHz
	FM香川	高松	78.6MHz		〃	大分	639kHz
	FM愛媛	松山	79.7MHz		〃	長崎	684kHz
四国地方(FM)	FM徳島	徳島	80.7MHz		〃	熊本	756kHz
	FM高知	高知	81.6MHz		NHK第2	〃	873kHz
	NHK-FM	徳島	83.4MHz				

	放送局名	場所	周波数
九州 地方 (AM)	宮崎放送	宮崎	936kHz
	NHK第1	佐賀	963kHz
	NHK第2	福岡	1,017kHz
	大分放送	大分	1,098kHz
	南日本放送	隼人	1,107kHz
	熊本放送	熊本	1,197kHz
	長崎放送	長崎	1,233kHz
	RKBラジオ	福岡	1,278kHz
	NHK第2	長崎	1,377kHz
	〃	鹿児島	1,386kHz
	KBCラジオ	福岡	1,413kHz
	NHK第2	大分	1,467kHz
	〃	宮崎	1,467kHz
	AFN	佐世保	1,575kHz
沖縄 (FM)	FM 沖縄	那覇	87.3MHz
	NHK-FM	沖縄	88.1MHz
	AFN 沖縄	〃	89.1MHz
沖縄 (AM)	NHK第1	沖縄	549kHz
	AFN	〃	648kHz
	琉球放送	那覇	738kHz
	ラジオ沖縄	〃	864kHz
	NHK第2	〃	1,125kHz

故障かな?と思う前に

—おや?故障かな?と思ったら…修理を依頼される前にもう一度お確かめください。—

症 状	原 因 ・ 処 置
どのボタンを押しても正しく動作しない。	● 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作している。 → リセットボタンを押す。 (時計の設定や放送局などのメモリー内容が取り消され、お買い上げの状態に戻ります)
電源を切ったが「ATT」表示が点滅する。	● ⏻(電源)/ATTボタンを1秒以上押す。
電源が入らない。	● 電源(ACCライン)のコードが接続されていないため。 ● 車のエンジンキーが「OFF」またはACC「OFF」のため。 (⇒ 12ページ)
CDの取り出しができない。(「No Eject」が表示される)	● 盗難防止状態になっている。 → SELボタンを押したまま▲(CD取出し)ボタンを同時に2秒以上押す。(⇒ 30ページ)
CDを入れても音が出ない。	● 音量を適度に調節する。 ● 内部のレンズが結露(つゆつき)している。 → ラジオを聞くなどして1~2時間待つ。 ● CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクを使用している。 → ディスクのマークを確認する。(⇒ 20ページ)
CD-R/CD-RWディスクの再生ができない。 CD-R/CD-RWディスクのスキップ演奏ができない。	● ファイナライズ処理がされていないため。 → ファイナライズ処理したディスクと交換する。 または録音した機器でファイナライズ処理をする。
「ピッピッピ」音のあとCDが出てくる。	● CDが裏返しに入っている。 → 文字のある面を上にしてCDを入れ直す。
CDの出し入れのとき音が途切れる。	● この動作のときは、音声にミュートینگをかけて雑音の発生を防いでいるためで故障ではありません。

症 状	原 因 ・ 処 置
放送がうまく受信できない。 雑音が多くて聞きにくい。 AMラジオが受信できない。	● アンテナの接続を確かめる。またはアンテナが十分に伸びているか確かめる。 ● オートアンテナコントロール端子(またはアンテナブラスター電源端子)に本機の「アンテナコントロール電源」コード(青)を正しく接続する。 ● 車両側のアンテナ線からアンテナコントロール端子が出ている。 → 本機の「アンテナコントロール電源」コード(青)をこの端子に接続する。 ● 放送局の周波数に正しく合わせる。 ● 携帯電話などを本機から離す。

こんな表示のときは

表 示	原 因 ・ 処 置
No Name	● ディスク名や曲名が記録されていない。 → ディスク名または曲名が記録されているディスクを入れる。 ● 放送局名が入力されていない。 → 放送局名を入力する。
No Magazine	● マガジンが入っていないときソース(音源)を「CDチェンジャー」にしたため。 → マガジンを入れる。
Unplayable File	● ファイルのフォーマット(形式)が適切でない。 → 正しいフォーマットのファイルを含むディスクを入れる。
No Music	● フォルダにMP3/WMAファイルが含まれていない。 → MP3/WMAファイルを含むフォルダを選ぶ。 ● ディスクに<jml>または<jma>のファイルしか記録されていない。 → MP3/WMAファイルを含むディスクを入れる。

故障かな?と思う前に(つづき)

表 示	原 因 ・ 処 置
Eject Error	● CDの取り出しができなかったため。 → CD挿入口の障害物を取り除き▲(CD取出し)ボタンを押す。
Input Over	● LINE IN端子に接続した機器からの入力レベルが大きいため。 → 接続した機器の音量(ボリューム)を絞り、「Input Over」が表示されないレベルに調節する。
表示窓の右側に＊マークが表示され、デモ表示などのアニメーションが表示されない。また文字がスクロールしない。	● 冬期低温下に長時間駐車したため本機の温度が0℃以下になっている。 → そのままラジオを聞くなどして本機の温度が上昇するまで待つ。
● CDチェンジャー	
Reset 8	● CDチェンジャーとの通信エラーが発生したため。 → CDチェンジャーとの接続コードを確認する。
Reset ^{数字} ○	● CDチェンジャー本体にエラーが発生したため。 → CDチェンジャーの取扱説明書の「エラーコードについて」をご覧ください。

ご注意

- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、記憶(メモリー)した放送局は取り消されます。時計表示は「1:00」に戻ります。電源を接続したらもう一度始めから放送局や現在時刻を設定し直してください。

〈お知らせ〉

- 本機の故障や不具合等により、利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げ販売店または別紙の「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」をご覧くださいのうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

持込修理

62～64ページの「故障かな？と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお正しく動作しないときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎() —

故障かな？と思う前に(つづき)・保証とアフターサービス

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

CDプレーヤー部

- 型 式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
- サンプリング
周 波 数：44.1kHz
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：5Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：98dB
- S N 比：102dB

チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1
(JASOプラグ仕様)
- FMチューナー部
- 受信周波数：76.0MHz～90.0MHz
- 実 用 感 度：14.3dBf(1.43μV/75Ω)
- AMチューナー部
- 受信周波数：522kHz～1,629kHz
- 実 用 感 度：27dBμ(22.4μV)

オーディオアンプ部

- 最 大 出 力：フロント 50W+50W
(4Ω, 1kHz)
リア 50W+50W
(4Ω, 1kHz)
- 適合インピーダンス：4Ω(4Ω～8Ωで使用可能)
- 入 力 端 子：DINジャック×1
LINE IN(1系統)、
1.5V/20kΩ
- 出 力 端 子：LINE OUT(2系統)、
4.0V/1kΩ
：SUB WOOFER(1系統)

電源部・その他

- 電 源 電 圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)
マイナスアース専用
- 取 付 寸 法：幅178mm×高さ50mm×
奥行161mm
- 外 形 寸 法：幅178mm×高さ50mm×
奥行185mm
- 質 量：約1.8kg(付属品含まず)

付属品

- ・リモコン(RM-RK100) 1
- ・電池(CR2025) 1
- ・CD-ROM(アプリケーションソフト) 1
- ・接続コード(16ピンコネクター) 1
- ・ネジ(M5×6mm) 4
- ・皿ネジ(M5×6mm) 4

別売りのオプション品

- ・RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)
CN-510E(長さ1m)
CN-520E(長さ2m)

■ 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。
(品番は変更されることがあります)

文字配列表

●カタカナ

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ケ	コ
ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン		
ァ	ィ	ゥ	ヱ	ォ	ャ	ュ	ョ	ツ	
ー	・	°	(空白)						

●英大文字

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	(空白)			

●英小文字

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	(空白)			

●数字・記号

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
!	”	#	\$	%	△	’	(	)	*
+	,	—	.	/	:	;	<	=	>
?	@	—	`	(空白)					

〈お知らせ〉

- 本機は、「文字配列表」以外の文字・記号は入力できません。
- 入力した放送局名をお買い上げ時の放送局名に戻すときは、リセットボタンを押します。このあと電源を入れてから、時計の設定や放送局の記憶(メモリー)などの設定をやり直してください。そのあと「SELボタンを使った各種設定と調節」(➡ 49ページ)の操作で「St. Area」の「ご利用の地域」を設定します。

お手入れ

本体の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで**からぶ**きしてください。

汚れがひどいときは、水または中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶ**きしてください。

ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに
関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
JVCカーオーディオお客様ご相談センター

別紙の
「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」
をご覧ください。

 0120-977-846 (フリーコール)
FAX (027) 254-8927
受付時間 10:00~18:00
(土、日、祝日、当社休日を除く)
〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

ビクターインターネットホームページアドレス
カーAV機器ホームページアドレス

<http://www.jvc-victor.co.jp/>
<http://www.jvc-victor.co.jp/car/>

JVC

MANUFACTURED BY VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

日本ビクター株式会社

AV&マルチメディアカンパニー

〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12